

令和5年度

鹿児島県公立高等学校

入学者選抜学力検査結果の概要

この資料は、公立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要をまとめたもので、受検者の学力の状況について、先生方や県民の皆さんに理解していただくために作成したものです。

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、それぞれの立場から、学習指導の改善充実を図るための資料として活用してください。

鹿児島県教育委員会

目 次

はじめに	1
1 第一次入学者選抜の状況について	1
2 総得点について	2
(1) 受検者の得点分布	
(2) 受検者(400点以上・360点以上・100点未満), 合格者(100点未満)の年度別推移	
3 各教科の平均点等について	3
(1) 各教科の平均点	
(2) 受検者の平均点の年度別推移	
(3) 各教科における受検者の得点分布及びそのグラフ	
4 目安点をめぐる状況について	5
(1) 目安点未満の人数推移(過去5年間)	
(2) 目安点未満の地区別状況(出身中学校所在地区別)	
(3) 過去5年間の基本的な「読み・書き・算」をめぐる状況	
5 今年の特徴的な問題	7
(1) 国語における特徴的な問題	
(2) 社会における特徴的な問題	
(3) 数学における特徴的な問題	
(4) 理科における特徴的な問題	
(5) 英語における特徴的な問題	
6 国語について	12
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(国語)	
(2) 国語の問題	
(3) 国語の解答例	
7 社会について	16
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(社会)	
(2) 社会の問題	
(3) 社会の解答例	
8 数学について	23
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(数学)	
(2) 数学の問題	
(3) 数学の解答例	
9 理科について	30
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(理科)	
(2) 理科の問題	
(3) 理科の解答例	
10 英語について	37
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(英語)	
(2) 英語の問題	
(3) 英語の解答例	

はじめに

令和5年3月2日、3日に、公立高等学校入学者選抜学力検査を実施しました。

検査問題の出題にあたっては、中学校における新学習指導要領の実施を踏まえ、小学校から中学校（義務教育学校後期課程）までに習得した知識・技能及びこれらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力が検査できるように留意したところです。

この冊子では、公立高等学校への出願状況等や学力検査の得点などについて集計した結果に加え、「今年の特徴的な問題」で、各教科の「問題のねらい」や「指導上のポイント」を紹介しています。小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、それぞれの立場から、学習指導の改善充実を図るための資料として活用してください。

Ⅰ 第一次入学者選抜の状況について（推薦入学者選抜等に係る人数を含む。）

課程 学科	全 日 制							定時制 計	全定合計	
	普通	農業	工業	商業	家庭	総合・その他	計			
募集 定員	5年度	5,962	760	1,840	1,960	520	718	11,760	84	11,844
	4年度	6,046	760	1,840	1,960	520	718	11,844	84	11,928
出願 者数	5年度	5,372	387	1,560	1,512	434	425	9,690	40	9,730
	4年度	5,461	461	1,536	1,453	449	449	9,809	42	9,851
受検 者数	5年度	5,176	376	1,502	1,479	426	413	9,372	35	9,407
	4年度	5,270	449	1,479	1,422	441	436	9,497	40	9,537
合格 者数	5年度	4,744	358	1,485	1,460	411	406	8,864	36	8,900
	4年度	4,755	432	1,396	1,366	441	426	8,816	40	8,856
受検 倍率	5年度	0.87	0.49	0.82	0.75	0.82	0.58	0.80	0.42	0.79
	4年度	0.87	0.59	0.80	0.73	0.85	0.61	0.80	0.48	0.80

- ・ 開陽高校の第3回・第4回入学者選抜に係る人数を含まない。
- ・ 普通には、普通科、理数科、文理科学科、文理科、情報科学科、体育科、音楽科、美術科、スポーツ健康科が含まれる。
- ・ 受検倍率は、（受検者数）÷（募集定員）として算出した。

（参考）推薦入学者選抜、連携型中高一貫教育校入学者選抜及び帰国生徒等特別入学者選抜の状況

課程 学科	全 日 制							定時制 計	全定合計
	普通	農業	工業	商業	家庭	総合・その他	計		
出願 者数	475	13	85	96	34	14	717	6	723
受検 者数	474	13	85	96	34	14	716	6	722
合格 者数	425	11	85	96	34	14	665	6	671

- ・ 推薦入学者選抜には、自己推薦入学者選抜を含む。

（参考）第二次入学者選抜の状況

課程 学科	全 日 制							定時制 計	全定合計
	普通	農業	工業	商業	家庭	総合・その他	計		
募集 定員	1,218	402	355	500	109	300	2,884	35	2,919
出願 者数	33	5	10	11	1	2	62	3	65
受検 者数	32	5	9	11	1	2	60	3	63
合格 者数	32	5	5	9	0	1	52	3	55

2 総得点について（全日制，定時制合計）

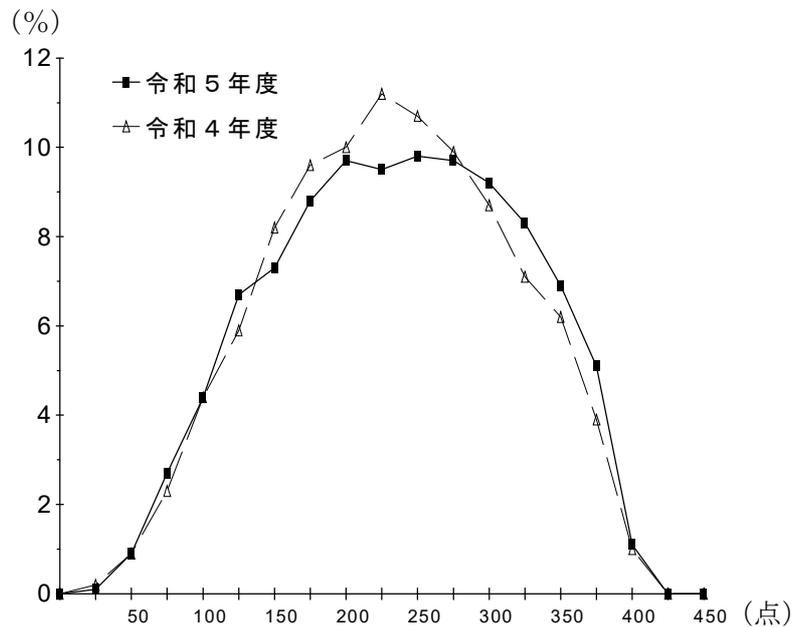
※ この項以降のデータは，すべて学力検査受検者についてである。

(1) 受検者の得点分布

・ 平均点は前年度に比べて3.6点上がった。

令和5年度 247.1

令和4年度 243.5



得点分布																		平均点
0	25	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400	425	
24	49	74	99	124	149	174	199	224	249	274	299	324	349	374	399	424	450	
0.0	0.1	0.9	2.7	4.4	6.7	7.3	8.8	9.7	9.5	9.8	9.7	9.2	8.3	6.9	5.1	1.1	0.0	247.1

※ 得点分布は％で示した。

(2) 受検者(400点以上・360点以上・100点未満)，合格者(100点未満)の年度別推移

年度	受検者								合格者			
	受検者数	400点以上の人 数	400点以上の割合(%)	360点以上の人 数	360点以上の割合(%)	100点未満の人 数	100点未満の割合(%)	合格者数	100点未満の人 数	100点未満の割合(%)	100点未満の受検者に対する割合(%)	
	A	B	$\frac{B}{A} \times 100$	C	$\frac{C}{A} \times 100$	D	$\frac{D}{A} \times 100$	E	F	$\frac{F}{E} \times 100$	$\frac{F}{D} \times 100$	
5	8,735	98	1.12	871	9.97	331	3.79	8,216	271	3.30	81.9	
4	8,873	86	0.97	754	8.50	302	3.40	8,165	241	2.95	79.8	
3	8,798	122	1.39	977	11.10	413	4.69	8,144	342	4.20	82.8	
2	9,194	35	0.38	569	6.19	401	4.36	8,564	315	3.68	78.6	
31	9,774	4	0.04	348	3.56	649	6.64	8,987	507	5.64	78.1	

3 各教科の平均点等について（全日制，定時制合計）

(1) 各教科の平均点

区分	課程・学科		総得点	国語	社会	数学	理科	英語
受 検 者	全 日 制	普 通	292.6	58.0	61.5	55.9	59.5	57.7
		専 門	193.5	43.0	39.6	36.6	39.0	35.2
		計	247.6	51.2	51.6	47.1	50.2	47.5
	定 時 制		97.0	25.3	19.5	16.0	18.3	17.9
	全 定 計		247.1	51.1	51.5	47.0	50.1	47.4
合 格 者	全 日 制	普 通	291.5	58.0	61.2	55.7	59.3	57.5
		専 門	195.4	43.5	40.0	36.9	39.4	35.5
		計	246.1	51.1	51.2	46.8	49.9	47.1
	定 時 制		97.0	25.3	19.5	16.0	18.3	17.9
	全 定 計		245.5	51.0	51.1	46.7	49.8	47.0

※ 普通には，普通科，理数科，文理科学科，文理科，情報科学科，体育科，音楽科，美術科，スポーツ健康科が含まれる。専門には，総合学科が含まれる。

(2) 受検者の平均点の年度別推移

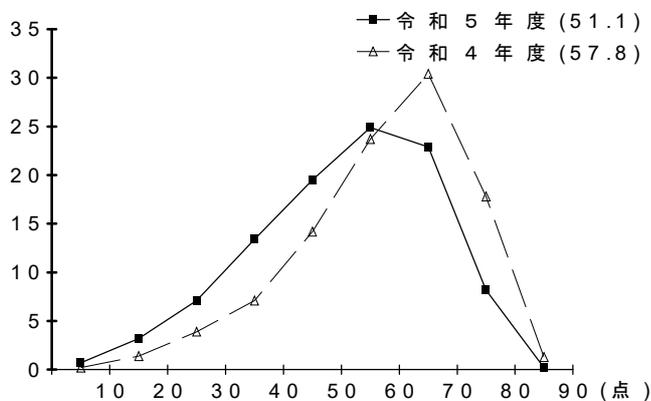
年度	総得点	国語	社会	数学	理科	英語
5	247.1	51.1	51.5	47.0	50.1	47.4
4	243.5	57.8	53.1	39.0	53.9	39.6
3	248.5	50.4	51.2	47.3	47.5	52.1
2	236.2	55.1	48.4	42.3	43.0	47.5
31	221.4	44.7	45.8	38.2	46.5	46.2

(3) 各教科における受検者の得点分布及びそのグラフ

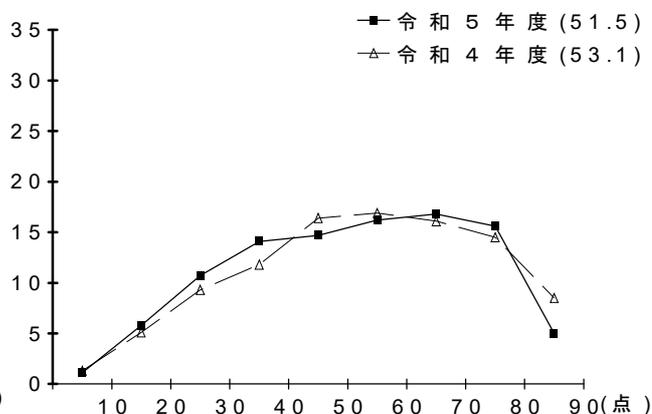
教科	得点分布								
	0～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81～90
国語	0.7	3.2	7.1	13.4	19.5	24.9	22.9	8.2	0.2
社会	1.1	5.8	10.7	14.1	14.7	16.2	16.8	15.6	5.0
数学	1.5	8.0	11.4	15.5	17.9	19.2	16.8	8.3	1.4
理科	0.6	4.6	11.3	17.0	17.8	17.8	14.6	10.2	6.1
英語	0.8	7.6	16.5	16.6	13.6	14.5	14.4	12.5	3.5

※ 得点分布は％で示した。

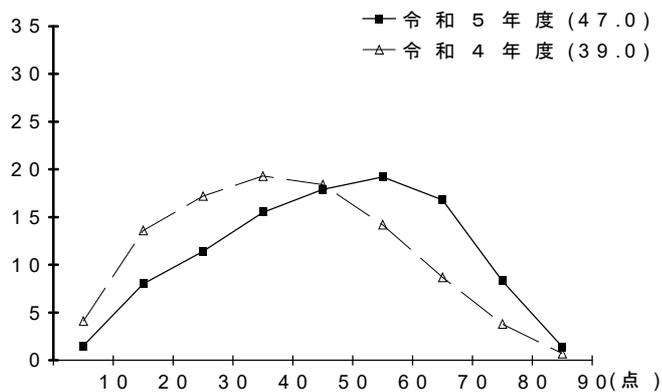
ア 国語



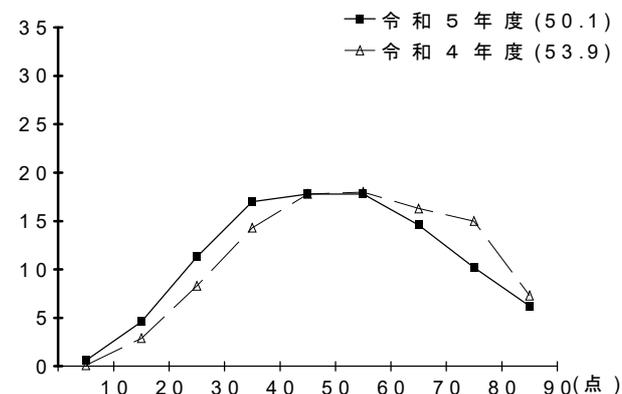
イ 社会



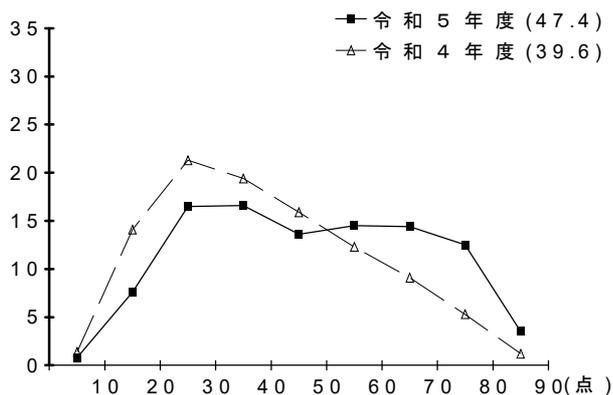
ウ 数学



エ 理科



オ 英語



() 内は平均点

4 目安点をめぐる状況について

(1) 目安点未滿の人数推移（過去5年間）

単位 人

教科等	年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度
国語		214 (2.4%)	86 (1.0%)	188 (2.1%)	85 (0.9%)	299 (3.1%)
社会		385 (4.4%)	388 (4.4%)	497 (5.6%)	396 (4.3%)	517 (5.3%)
数学		560 (6.4%)	1,147 (12.9%)	639 (7.3%)	739 (8.0%)	944 (9.7%)
理科		294 (3.4%)	131 (1.5%)	652 (7.4%)	858 (9.3%)	657 (6.7%)
英語		411 (4.7%)	879 (9.9%)	338 (3.8%)	749 (8.1%)	1,133 (11.6%)
5教科総点が目安点未滿の人数		212 (2.4%)	207 (2.3%)	288 (3.3%)	290 (3.2%)	458 (4.7%)
目安点未滿の教科を1教科以上持つ実人数		1,026 (11.7%)	1,645 (18.5%)	1,157 (13.2%)	1,458 (15.9%)	1,783 (18.2%)
受検者総数		8,735	8,873	8,798	9,194	9,774

※ 目安点は、基礎的内容の設問の合計点であり、国語・社会・数学・理科においては、小学校教材及びその関連教材の内容を含んでいる。

(2) 目安点未滿の地区別状況（出身中学校所在地区別）

地区	目安点	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
	受検者	18点	18点	18点	18点	18点	90点
鹿児島	3,323 人	1.7 %	2.4 %	4.2 %	2.4 %	3.0 %	1.7 %
南薩	640 人	1.9 %	4.8 %	7.3 %	3.0 %	6.9 %	2.3 %
北薩	1,110 人	3.2 %	4.4 %	6.5 %	3.8 %	5.8 %	2.5 %
始良・伊佐	1,433 人	2.8 %	5.7 %	7.6 %	3.8 %	5.5 %	3.1 %
大隅	1,092 人	3.2 %	6.0 %	9.2 %	4.4 %	5.4 %	3.1 %
熊毛	244 人	2.0 %	5.7 %	7.0 %	3.3 %	6.1 %	2.9 %
大島	614 人	4.2 %	8.3 %	9.6 %	4.9 %	6.5 %	3.6 %
県全体	8,735 人	2.4 %	4.4 %	6.4 %	3.4 %	4.7 %	2.4 %

※ 鹿大教育学部附属中学校、私立中学校等からの受検者数 279 人については、地区別人数に含まない。

(3) 過去5年間の基本的な「読み・書き・算」をめぐる状況

【国語】

年 度	令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度			平成31年度		
読 み	陶 酔	怠(る)	頒 布	固 唾	嫉 妬	浸(る)	縁 側	招 致	研(ぐ)	観 衆	祈(って)	誓(った)	著(しい)	就(く)	終 息
誤答者数 (人)	4,521	1,836	5,176	4,525	80	1,012	1,135	1,734	519	552	506	524	1,867	381	1,652
割 合 (%)	51.7	21.0	59.2	51.0	0.9	11.4	12.9	19.7	5.9	6.0	5.5	5.7	19.1	3.9	16.9

年 度	令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度			平成31年度		
書 き 取 り	浴(びる)	警 告	風 潮	粉 薬	裁(く)	鉞 脈	貯 蔵	耕(す)	額	勇(ましい)	幕	冷 静	似(た)	批 評	混 雑
誤答者数 (人)	1,793	2,378	4,031	772	1,216	3,256	3,846	2,042	4,700	2,354	3,669	2,179	1,016	2,825	1,564
割 合 (%)	20.5	27.2	46.1	8.7	13.7	36.7	43.7	23.2	53.4	25.6	39.9	23.7	10.4	28.9	16.0

【数 学】

年 度	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
計 算 式	$63 \div 9 - 2$	$(1/2 - 1/5) \times 1/3$	$4 \times 8 - 5$	$1/2 + 7/9 \div 7/3$	$5 \times 4 + 7$	$2/3 - 3/5 \div 9/2$
誤答者数 (人)	218	690	284	444	352	915
割 合 (%)	2.5	7.9	3.2	5.0	4.0	10.4

年 度	令和2年度		平成31年度	
計 算 式	$8 \div 4 + 6$	$1/2 + 9/10 \times 5/3$	$5 \times (6 - 2)$	$1/4 + 5/3 \div 10/9$
誤答者数 (人)	423	800	547	919
割 合 (%)	4.6	8.7	5.6	9.4

5 今年の特徴的な問題

(1) 国語における特徴的な問題

4 3 佐藤さんは、国語の時間に——線部③における千暁の心情について、発表することになった。発表原稿を作成するためにグループで話し合いながら、鈴音が部室に現れた後の千暁と鈴音の心情に関連した描写を付箋に記入し、〈ワークシート〉に貼り付けた。
(中略) 発表原稿の には、六十五字以内の言葉を考えて答えよ。

【問題のねらい】

- 「読むこと」について、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉える力をみた。

【指導上のポイント】

- 登場人物の心情は、直接的に描写されている場合もあるが、人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合もある。文学的な文章を読むときには、細部の描写にも着目しながら物事の様子や場面、行動や心情などの変化を丁寧に捉えさせたい。例えば、文章を読んで印象に残ったことや、表現の効果などについてスピーチしたり、文章にまとめて伝え合ったりするような言語活動を取り入れたい。

5 「第 47 回全国高等学校総合文化祭」を紹介する生徒会新聞の記事を書くための 3 つの資料の中から参考にする資料を 2 つ選び、(1)~(4)の条件に従って、記事の下書きを完成させなさい。

【問題のねらい】

- 「書くこと」について、複数の情報を整理した上で、伝えたいことを明確にして表現する力をみた。

【指導上のポイント】

- 自分の伝えたいことに合わせて情報を整理し、文章にまとめるなど、相手や媒体（新聞、リーフレット、パンフレットなど）を考慮して文章を書く練習をさせたい。
- 表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫させたい。例えば、生徒自身の考えを支える根拠となるような客観性や信頼性の高い適切な情報を書く材料として提示して文章を書かせるような活動を取り入れたい。

(2) 社会における特徴的な問題

4 略地図中の山梨県では、写真1のような扇状地が見られる。扇状地の特色とそれをいかして行われている農業について述べた次の文の に適することばを補い、これを完成させよ。

扇状地の中央部は粒の大きい砂や石からできているため 。そのため、水田には適さないが、ぶどうなどの果樹の栽培に利用されている。

写真1



【問題のねらい】

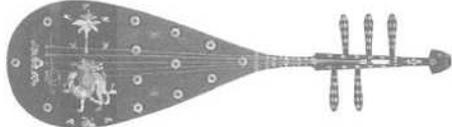
- 社会的事象を位置や空間的広がりに着目して、環境条件、人間の営み等と関連付けて考え、考察したことを説明する力をみた。

【指導上のポイント】

- 人々の生活と自然環境との関わりについて思考できるよう、具体的な問いを生徒に意識させながら考えさせたい。例えば、「人々の生活は、周辺の自然環境からどのような影響を受けているのか」、「人々の生活は、周囲の自然環境にどのような影響を与えているのか」等、双方向の問いから社会的事象について思考させるよう工夫したい。

3 ㉔について、資料1は天平文化を代表する正倉院宝物の「螺鈿紫檀五絃琵琶」と「瑠璃杯」である。資料1から読み取れる天平文化の特色を書け。ただし、遣唐使ということばを使うこと。

資料1

<p>螺鈿紫檀五絃琵琶</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 5弦の琵琶はインドが起源といわれている。 ・ 中国で作られたと考えられている。 	<p>瑠璃杯</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 西アジアで作られたガラスに、中国で銀の脚を付けたと考えられている。
--	---

【問題のねらい】

- 資料から歴史的事象の意義や事象同士を関連付け、多面的・多角的に考察したことを、文章で表現する力をみた。

【指導上のポイント】

- 歴史的事象の意義やその関連について思考できるよう、歴史的事象を「同じような特徴を持つもの」、「同じ時代のできごと」など、様々な視点でまとめていくよう指導したい。例えば、「どのような特徴があるか」、「どのような時代だったのか」、「どのような影響を及ぼしたのか」等の視点に着目して考えさせたり、表現させたりするよう指導したい。

(3) 数学における特徴的な問題

2 右の図のような長方形 ABCD がある。次の【条件】をすべて満たす点 E を、定規とコンパスを用いて作図せよ。ただし、点 E の位置を示す文字 E を書き入れ、作図に用いた線も残しておくこと。

【条件】

- ・線分 BE と線分 CE の長さは等しい。
- ・△BCE と長方形 ABCD の面積は等しい。
- ・線分 AE の長さは、線分 BE の長さより短い。



【問題のねらい】

- 与えられた条件について、思考、判断し、正しく作図をする表現力をみた。

【指導上のポイント】

- 図形の性質や関係を理解し、それに基づいた作図の方法を考え、理由や手順を説明できるよう指導したい。
- 与えられた条件が何を意味するのか見通しをもち、条件の違いによりどのような図形ができるのか考えさせたい。例えば、条件を変えることにより、複数の図形を作図させたり、違う図形を作図させたりするような活動を取り入れたい。

3 1960 年から 2020 年まで 10 年ごとの鹿児島県の市町村別の人口に占める割合について、図 2 は 15 歳未満の人口の割合を、図 3 は 65 歳以上の人口の割合を箱ひげ図に表したものである。ただし、データについては、現在の 43 市町村のデータに組み替えたものである。

図 2

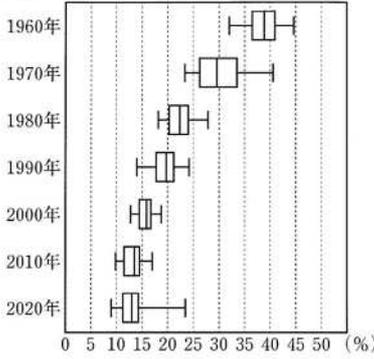


図 3

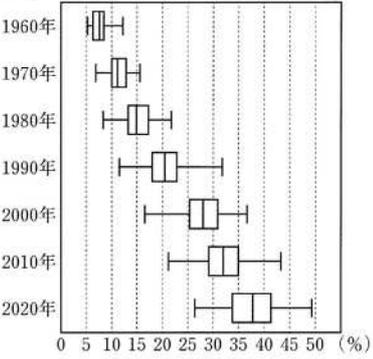


図 2 や図 3 から読みとれることとして、次の①～⑤は、「正しい」、「正しくない」、「図 2 や図 3 からはわからない」のどれか。最も適当なものを下のア～ウの中からそれぞれ 1 つ選び、記号で答えよ。

- ① 図 2 において、範囲が最も小さいのは 1990 年である。
- ② 図 3 において、1980 年の第 3 四分位数は 15% よりも大きい。
- ③ 図 2 において、15% を超えている市町村の数は、2010 年よりも 2020 年の方が多い。
- ④ 図 3 において、2000 年は 30 以上の市町村が 25% を超えている。
- ⑤ 図 2 の 1990 年の平均値よりも、図 3 の 1990 年の平均値の方が大きい。

ア 正しい イ 正しくない ウ 図 2 や図 3 からはわからない

【問題のねらい】

- 箱ひげ図についての知識及び技能をみるとともに、与えられた資料を読み取る思考力、判断力をみた。

【指導上のポイント】

- データを分析するとき、折れ線グラフやヒストグラム、箱ひげ図などの特徴や意味を理解して、どの図やグラフが適切かを判断させたい。
- 図やグラフを活用して、複数のデータの分布の傾向を読み取ったり、批判的に考察したりする場面を設けたい。例えば、データから読み取れた結論について、それが妥当であるかを互いに検討するような活動を取り入れたい。

(4) 理科における特徴的な問題

2

I ある日、桜島に行ったゆうさんが、気づいたことや、桜島に関してタブレット端末や本を使って調べたり考えたりしたことを、図のようにまとめた。

図

桜島について

○年△月□日

〈気づいたこと〉

- ・ゴツゴツした岩がたくさんあった。
- ・道のあちこちに火山灰が見られた。

〈火山の形〉



桜島

〈火山灰の広がり〉

桜島の降灰予報から火山灰の広がりについて考えた。右の桜島の降灰予報から、桜島上空の風向は **b** であることがわかる。もし、桜島上空に上がった火山灰が、この風によって 10 m/s の速さで 30 km 離れた地点 P の上空に到達したとすると、そのときにかかる時間は、**c** 分であると考えられる。



【問題のねらい】

- 桜島上空の風向を降灰予報の図から思考できるかをみた。また、上空に上がった火山灰が到達するのにかかった時間を速さと距離の関係から求めることができるかをみた。

【指導上のポイント】

- 授業で学習した内容をもとに、身の回りの自然や日常生活で気づいたことに対して疑問に思ったことを自ら記録して、理科の見方・考え方を働かせながら考察できるように指導したい。

3

II 図1は、鹿児島県の郷土菓子のふくれ菓子である。その材料は、小麦粉、黒糖、重曹などである。重曹は炭酸水素ナトリウムの別名であり、ホットケーキの材料として知られるベーキングパウダーにも炭酸水素ナトリウムがふくまれている。ベーキングパウダーにふくまれている炭酸水素ナトリウムの質量を調べるため、次の実験1、2を行った。

図1



実験1 ある濃度のうすい塩酸 40.00 g が入ったビーカーを5個用意し、それぞれ異なる質量の炭酸水素ナトリウムを図2のように加えた。ガラス棒でかき混ぜて十分に反応させ、二酸化炭素を発生させた。その後、ビーカー内の質量を記録した。表はその結果である。なお、発生した二酸化炭素のうち、水にとけている質量については無視できるものとする。

図2



表

反応前のビーカー内の質量 [g]	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
加えた炭酸水素ナトリウムの質量 [g]	2.00	4.00	6.00	8.00	10.00
反応後のビーカー内の質量 [g]	40.96	41.92	43.40	45.40	47.40

2 次の文は、実験1について述べたものである。**a** にあてはまるものをア～エから選べ。また、**b** にあてはまる数値を書け。

うすい塩酸 40.00 g と反応する炭酸水素ナトリウムの最大の質量は、表から **a** の範囲にあることがわかる。また、その質量は **b** g である。

- ア 2.00 g ~ 4.00 g イ 4.00 g ~ 6.00 g
ウ 6.00 g ~ 8.00 g エ 8.00 g ~ 10.00 g

【問題のねらい】

- お菓子の材料に使われるベーキングパウダーにふくまれている炭酸水素ナトリウムの質量を調べる実験をとおして、質量保存の法則について正しく理解しているかをみた。

【指導上のポイント】

- 得られた結果をどのように分析して解釈・判断するか授業の中で体験させながら指導したい。例えば、反応物と生成物の質量をグラフ化することで規則性を見だし理解させたり、溶液の濃度など条件を変えて実験を行いその結果を比較し解釈させたりしたい。

(5) 英語における特徴的な問題

1

4 これから、Saki と Bob との対話を放送します。対話の後に、その内容について英語で質問します。下の英文がその質問の答えになるよう、() に入る適切な英語 1 語を書きなさい。

Saki : I hear that you will go back to Australia next month, Bob. How long will you stay there?

Bob : For two weeks. I'll be back in Japan on January 10th.

Saki : So, you will spend New Year's Day in Australia.

Bob : Yes, with my family.

Question : Is Bob going back to Australia in December or in January?

He is going back to Australia in ().

[問題のねらい]

- 会話を聞いて、情報を的確に理解し、求められる情報を適切に表現する力をみた。

[指導上のポイント]

- 日常的な話題についての聞き取り問題では、大事な情報を聞き取り、情報を整理して要点を捉えさせたい。例えば、キーワードをメモさせたり、対話の話題などを確認させたりしたい。また、月や曜日、色などの基本的な単語については、正確に書く力もつけさせたい。

2

4 次は、中学生の Hikari が昨日の下校中に体験した出来事を描いたイラストである。Hikari になったつもりで、イラストに合うように、一連の出来事を解答欄の書き出しに続けて25~35語の英語で書け。英文の数は問わない。



[問題のねらい]

- 過去の出来事について、伝えるべき内容を思考、判断し表現する力をみた。

[指導上のポイント]

- 状況を適切に説明できるように、論理的に英文を書く力を付けさせたい。例えば、Then や Finally などの話の展開を示すつなぎ言葉を効果的に使用させるよう工夫したい。
- 語数が指定されているので、過不足なく書けるようにするために、1コマ1コマを適切な語句を使って表現できる力を付けさせたい。例えば、基本的な動詞の過去形や過去進行形などを正しく使って表現させるような指導を継続したい。

6 国語について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(国語)

問	題 内 容	学年	正 答 率										
			0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100 %
1	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		65.1										
1	(1) 漢字の書き取り(言葉の特徴や使い方に関する事項)	小4	79.5										☆
	(2) 漢字の書き取り(言葉の特徴や使い方に関する事項)	小6小5	72.8										
	(3) 漢字の書き取り(言葉の特徴や使い方に関する事項)	小2小6	53.9										
	(4) 漢字の読み(言葉の特徴や使い方に関する事項)	中	48.3										☆
	(5) 漢字の読み(言葉の特徴や使い方に関する事項)	中	79.0										☆
	(6) 漢字の読み(言葉の特徴や使い方に関する事項)	中	40.8										
2	書写(我が国の言語文化に関する事項)	中	81.4										☆
<ul style="list-style-type: none"> 大問全体の正答率は65.1%で、昨年の80.6%からすると低くなった。(1)「浴びる」(2)「警告」は正答率7割を超え、概ねできていた。(3)「風潮」については、「潮」を「調」とする誤答例がみられた。また、(6)の「頒布」の読みの正答率は40.8%と最も低く、「ぶんぶ」「ひんぶ」「はいふ」など、さまざまな誤答がみられた。漢字の書きの指導の際には、文や文章の中で使い慣れるために、生徒の実生活に根ざした文例を示したり、実際に短文を作らせたりするよう、指導を工夫したい。 小問2の正答率は81.4%であり、昨年の86.9%と同様、8割を超えた。行書の特徴的な書き方の基本事項に関して、点や画が連続したり、省略されたりする場合があることなどを理解させたい。 													
2	説明的な文章		61.9										
1	接続詞(言葉の特徴や使い方に関する事項)	中1	89.0										☆
	熟語の構成(言葉の特徴や使い方に関する事項)	中2	73.0										
3	I 内容の理解(読むこと)	中2	48.6										
	II 内容の理解(読むこと)	中2	83.2										
	III 内容の理解(読むこと)・(書くこと)	中3	34.8										
4	内容の理解(読むこと)	中2	70.8										
<ul style="list-style-type: none"> 小問1、小問2は言葉の特徴や使い方に関する事項を問う問題で、概ねできていた。日常の学習場面において、それぞれの単語のもつ文法的な役割を意識させたい。 小問3のI、IIは、授業後に生徒がまとめたノートについて、主張と具体例の関係を整理し、指定された字数で抜き出して答える問題であったが、Iの正答率が48.6%と低い結果であり、「歴史の中の誰か」という誤答が散見された。文章全体と部分との関係に注意しながら、文章の構成や論理の展開について生徒に考えさせたい。 小問3のIIIについては、本文前半と後半で述べられている筆者の主張に両方言及すべきであったが、傍線部付近をそのまま抜き出しただけの、不十分な解答が散見された。説明的な文章における論理の展開の仕方を捉えさせたい。 													
3	古典の文章		64.0										
1	歴史的仮名遣い(我が国の言語文化に関する事項)	中1	92.7										☆
	内容の理解(読むこと)	中2	80.5										
3	I 内容の理解(話すこと・聞くこと)	中2	51.4										
	II 主題の理解(話すこと・聞くこと)	中2	54.8										
	III 主題の理解(話すこと・聞くこと)	中3	60.1										
<ul style="list-style-type: none"> 小問1は我が国の言語文化に関する事項を問う問題であったが、正答率は92.7%と高く、基礎的な力は身に付いていると考えられる。小問2の、主題を捉える問題についても、よくできていた。音読に必要な文語のきまりを理解させた上で本文を音読させ、古典特有のリズムを通して古典の世界に親ませたい。 会話から主題を導く小問3では、Iは51.4%、IIは54.8%、IIIは60.1%という正答率であった。先生と生徒の会話の流れを丁寧に読みとることや、「なぜ海賊が用光から何も奪わずに去ったのか」について読み取ることが不十分な生徒もいたことがうかがえる。語注などを手掛かりに、登場人物の言動を通して、古典の作品に現れたものの見方・考え方を理解させたい。 													
4	文学的な文章		44.7										
1	心情の理解(読むこと)	中1	88.7										
	I 心情の理解(読むこと)	中1	78.5										
2	II 内容の理解(読むこと)	中1	12.7										
	III 心情の理解(読むこと)・(書くこと)	中2	40.4										
3	X 内容の理解(読むこと)	中2	80.3										☆
	Y 心情の理解(読むこと)・(書くこと)	中3	12.3										
<ul style="list-style-type: none"> 小問1は傍線部中の指示語を明らかにした上で主人公の様子を問う問題で、正答率は88.7%と高かった。 小問2は、鈴音が千晝の絵を汚したことを機に、千晝に生じた心の変容を捉える問題であり、傍線部周辺だけでなく、本文冒頭から丁寧に読み取る必要があるため、正答率が低かった。文学的な文章において、物語の展開の仕方や、登場人物の言動の意味などについて考えさせるよう指導したい。 小問3のYは、本文の描写を基に、登場人物の心情を捉える問題であったが、正答率12.3%と非常に低かった。登場人物の心情は、人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合もあるため、学習場面において、細部の描写にも注目しながら、物事の様子や場面、行動や心情などの変化を丁寧に捉えていくような言語活動を取り入れた。 													
5	作文		44.9										
	作文(書くこと)	小～中	44.9										☆
<ul style="list-style-type: none"> 段落構成条件についてはある程度満たしている解答が多かったが、文章と関連のない見出しになっているものや、段落間のつながりが不明瞭なものがみられた。 今回は、来年度本県で開催される「全国高等学校総合文化祭」について、複数の情報を整理した上で、自分の考えを構築し、伝えたいことについて適切な表現で文章を書く力を問った。身近な話題ということで意欲的に取り組んでいる解答がある一方、二段落目について、資料の内容を繰り返して自らの考えを書かず、内容に深まりのないものもみられた。学習場面において、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動や、自分自身の伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や論理の展開を工夫させる指導を取り入れたい。 													

(注) 学年:当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆ :目安対象の要素を含むの意。

(2) 国語の問題（著作権法に基づき、掲載は1, 3, 5とします。）

- 1 次の1・2の間に答えなさい。
- 1 次の「」内のカタカナは漢字に直し、漢字は仮名に直して書け。
- (1) 光を^アびらる。 (2) 危険を^イイコクする信号。
- (3) 社会の^ウチナチヨウを反映する。 (4) 映画の世界に^エ陶酔する。
- (5) トレーニングを^カ怠る。 (6) 小冊子を^ク頒布する。

2 次の行書で書かれた漢字の特徴を説明したものと、最も適当なものから選び、記号で答えよ。

茶

ア 全ての点画の筆の運びが直線的である。

イ 点画が一筋連続し、筆順が変化している。

ウ 点画の省略がなく、線の太さが均一である。

3 次の文章を読んで、あとの1～3の間に答えなさい。

平安時代の音楽家であった^甲用光が、土佐の国（現在の高知県）の祭りに出かけた後、郡に向かう船旅の途中で海賊に襲われた。本文はそれに続く場面である。

（用光は）弓矢の行方知らねは、^甲勢も敵に力なくて、今は騒ひなく殺されなむと思ひて、^乙船を取出でて、^丙船形の上（^丁）へ、「あの（^戊）の船か。今は妙法に及ばず、とくなく、ちのをも取りなまべ。ただし、年形なら、今とぞぞとて言つと船まゐらひ、早くなまもならをおかくだらう。」とて、思ひしめたる船旅の、^己小調（^庚）といふ曲、吹きて聞かせ申さむ。

（^辛）さういふと、さありしかと、「その御調にもしたまへ」といければ、^壬茶（^癸）の太きなる声にて、「またや、しほし待たなまべ。かくいふうな（^甲）り。もの聞け」といければ、^乙船を引いて、「おのおの静まりたるに、用光、今はかきりとおほさければ、^丙浪を流して、めでなき音を吹き出でて、^丁吹きまじしなりけり。海賊、静まりて、いふことなし。よくよく聞きて、^戊曲終はりて、^己矢の声にて、「君が船に心をかけて、^庚寄せたりつれども、^辛曲の声に涙流ちて、^壬かたぢりぬ」とて、^癸船を去りぬ。

（「十洲抄」による）

甲 音楽＝音楽の音楽師
乙 船＝船の船頭
丙 海賊の中心となることば

- 1 「」内の「乙」を現代仮名遣いに直し書け。
- 2 「」内の「いひければ」は、①「いひければ」の主語は誰か。その組み合わせとして正しいものを次から選び、記号で答えよ。
- ア ② 茶と ③ 海賊 イ ④ 海賊 ⑤ あの兄
ウ ⑥ あの兄 ⑦ 用光 エ ⑧ 用光 ⑨ 茶
- 3 次の文章を読んで、あとの1～3の間に答えなさい。
- 1 本文の内容をよみ、先生と生徒が話している場面である。□には適当な言葉を補って台詞を完成させよ。ただし、□には、本文中から採る漢字や言葉を五文字で抜き出し、□には、十字以内でふさわしい内容を考えて現代語で答えよ。
- 先生 「この話では、最終的に海賊は用光から何も奪わずに去っています。海賊はなぜ去ったのか考えさせよう。」
- 生徒A 「用光の歌が奏でたからかと思った。」
- 生徒B 「どうして精神がいらしたのかあななの。」
- 生徒A 「用光の歌が、この本文に「□」という表現があるから。」
- 生徒C 「なるほど」といって頷きしていったらう。」
- 生徒A 「用光が海賊に出会った場面では「今は静かに殺されなむ」とあるように、死を覚悟していただろうか。」
- 生徒B 「しかし海賊を去る場面では「□」と思つていらぬ。」
- 生徒A 「あつた。海賊には五臓の思いがあらうからならぬ。」
- 生徒B 「だから、その海賊を聞いた茶とは、「曲の声に涙流ち」と言つて、何も奪わずに去つていったらう。」
- 生徒C 「そうか、音楽には□が力があるのかしらね。」
- 先生 「そうである。い話したいがどうもな。おなまに作者は本文の端で、この話を「浪の歌」という言葉でまとめています。」

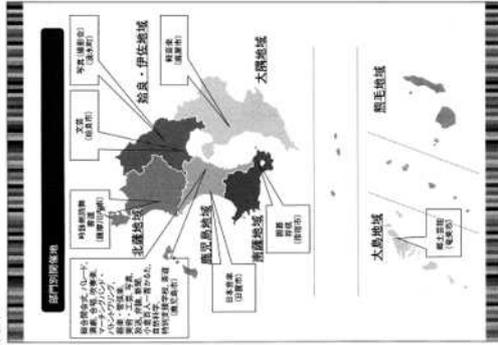
(2) 国語の問題

5 中学校の生徒会役員であるあなたは、学校で配られた新聞を読み、前号で二〇二三年七月十五日から八月四日にかけて第47回全国高等学校総合文化祭(以下、総文祭)が開催されることを知りました。興味をもったあなたは、来年度、高校生になる中学三年生に向けて総文祭を紹介したいと考え、生徒会新聞に来場を呼びかける記事を投稿することにしました。記事を書くために準備した資料1・3の中から、使う資料を二つ選び、もとの(1)~(4)の条件に従って記事の下書きを作成せよ。選んだ二つの資料については、解答题紙に1~3の番号を記入する。

条件

- (1) A には適当な見出しを書くこと。
- (2) B は二段落で構成し、六行以上八行以下書くこと。
 - ・ 第二段落には、資料から分かることを書くこと。
 - ・ 第二段落では、第二段落を断ち切って、あなた自身の総文祭の魅力を書くこと。
- (3) 選択した資料を示す場合や、資料中の数値を用いる場合は、次の例にならって書くこと。
- (4) 原稿用紙の正しい使い方によって、文字、行数、行数も正確に書くこと。

資料1



(「東京圏教育委員会ホームページ」をもとに作成)

資料2

大会概要
 大会について
 第47回大会で、全都道府県開催の一環目を飾りあげる記念すべき大会

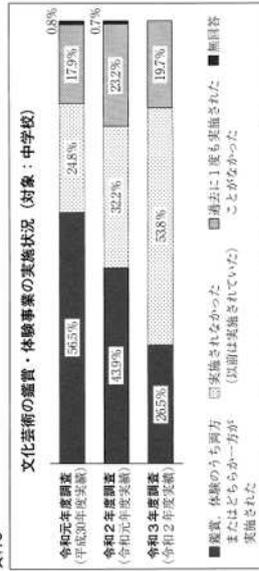
大会テーマ
 47の結晶、祝島の気晴らしのかけ文化の1ページ

目的
 芸術活動を通じて、全国的、国際的規模での生徒相互の交流を図る

参加者など
 参加校は約3千校
 参加者は約2万人
 (海外からはニュージーランド、ベトナム、韓国、中国の3カ国)
 観覧者は約10万人

(「都府県別高等学校総合文化祭ホームページ」をもとに作成)

資料3



(文化庁「令和元~3年度「文化芸術による子供育成総合事業」に関する調査研究」をもとに作成)

国一11

国一10

記事の下書き

〇〇中学校

生徒会新聞 □月△日発行

A

B

選んだ2つの資料を提示する場所

来年度、本報で開催される総文祭。ぜひ、会場で体験してくださいませ。

総文祭は、芸術文化体験を通じて、高校生が目指す「全国大会」です。

みなさん、総文祭さよならですか？
 総文祭は、芸術文化体験を通じて、高校生が目指す「全国大会」です。

(3) 国語の解答例

国語解答例

大問	配点	小問	解答例			
5	9点	3	Y 感情を素直に表す命題の姿に感服され、抑圧された日々に対する正直な感情を今なら表現できると確信し、この機会を迷わずと興奮している			
			X イ			
			III 自分の気持ちに素直になつて			
			II 新しく絵を描き直す			
			I あざやかな色			
			ウ			
			4	23点	3	III 人の心を動かす
						II 今はかぎり
						I めでたき音
						エ
いて						
3	18点	2				III 世界の仕組みについての知識を学ぶことで自分の経験の狭さから脱し、その知識を組み合わせて現状を分析し、新たな経験に活かしていける
						II 深い意味を持つ経験
						I 文字による情報
						ア
						エ
			2	26点	3	ウ
						4
						7点
						4点
						4点
3点						
1	14点	2				イ
						2
						2点
						2点
			2点			
			2点			
			2点			
			2点			
			2点			
			2点			
1	9点	1	(1) 番(びる)			
			(2) 警告			
			(3) 風潮			
			(4) とうすい			
			(5) おこた(る)			
			(6) はんぷ			

7 社会について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(社会)

問	題	内	容	学年	正 答 率												
					0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100 %		
1	地理的分野を主とする問題					66.4											
I	1	①	インド洋	中1	91.6	☆											
			2	正距方位図法	中1	84.6	☆										
			3	世界各地の産業の特徴	中1	65.7											
			4	世界の主な宗教	中1	59.6											
			5	EU	中1	77.5											
			6	ブラジルの輸出品の変化と特徴	中1	46.6											
	II	1	②	酪農	中2	73.2	☆										
				2	千島海流	中2	68.1										
				3	各県の人口に関する統計	中2	57.9										
				4	扇状地	中2	50.7										
				5	促成栽培	中2	61.2										
	III	1	③	地形図の読み取り	中2	67.7											
				2	緊急避難場所	中2	77.9										
	<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1では、全ての分野の中で1番高い91.6%の正答率であった。 中間I小問5では、正答率は77.5%と高かったが、ユーロの意味を理解していない解答もみられた。また、中間I小問6では、モノカルチャー経済の意味について理解が不十分な解答がみられた。用語についての基礎的な知識を定着させたい。 中間II小問4では、「水はけが悪い」という誤答が多く、正答率は50.7%に留まった。 中間II小問5では、資料に示された情報を概ね読み取っていたが、複数の資料の活用や文章表現力が不足している解答もみられた。資料や情報を総合的に分析し、それらを丁寧に表現する力を育成したい。 中間III小問2では、地形図から緊急避難場所の位置について判断する問題について、77.9%と高い正答率であった。 																
	2	歴史的分野を主とする問題					49.5										
I	1	①	① 撰閣政治	中1	73.1	☆											
			2	② 御成敗式目	中1	43.4											
			2	渡来人	中1	80.4	☆										
			3	天平文化の特色	中1	33.2											
			4	古代から中世の出来事	中1	25.7											
			5	応仁の乱、町衆	中2	36.9											
	II	1	②	江戸時代の農村の変化	中1～2	19.2											
				2	① 国際連盟	中2	58.6	☆									
				2	② 大正デモクラシー	中2	53.7										
				2	条約改正	中2	64.4										
				3	与謝野晶子	中2	63.5										
				4	政党内閣	中2	41.6										
	III	1	③	戦後の出来事	中3	57.2											
				2	米騒動	中3	57.5										
	<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1②は、「武家諸法度」という誤答が多く、正答率は43.4%であった。 中間I小問2は、正答率は80.4%で、歴史分野の中では最も高かった。 中間I小問4は、正答率は25.7%と低く、歴史的事象の流れや背景を正確に捉えさせたい。 中間I小問6は、全ての分野の中で最も低い19.2%の正答率であった。歴史的事象の理解だけでなく、文章読解力や論理的思考力も育成したい。 中間II小問1①は、「国際連合」という誤答が多く、正答率は58.6%であった。 中間II小問3は、「平塚らいてう」という誤答が多かった。 中間II小問5は、写真とグラフを組み合わせる文章で解答する問題で、正答率57.2%であった。 																
	3	市民的分野を主とする問題					55.5										
	I	1	①	個人の尊重	中3	46.2	☆										
				2	新しい人権	中3	69.3	☆									
3				環境アセスメント	中3	41.3											
4				衆議院の優越	中3	45.7											
5				期日前投票の取組のねらい	中3	50.6											
II		1	②	間接税	中3	47.3											
				2	クーリオン・オフ	中3	71.3	☆									
				3	インフレーション	中3	76.6										
				4	日本銀行の役割	中3	55.0										
				5	株式会社	中3	26.8										
III		1	③	多文化共生	中3	72.3											
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1は、基本的な内容であったが、正答率は46.2%で、「人権」や「平和」などの誤答がみられた。中間I小問3は、「環境アセスメント」という誤答や空欄が目立ち、41.3%の正答率に留まった。また、中間I小問4は、「イ」という誤答が多かった。これらのことから基本的な用語の理解と定着を図りたい。 中間II小問1は、「間接税」という誤答が多く、正答率は47.3%に留まったことから、用語の意味も含めて理解させたい。 中間II小問3は、市民分野で最も高い76.6%の正答率であった。 中間II小問5は、正答率は26.8%と低く、「会社の借金をすべて負う」、「政府の負担」という誤答がみられた。株式会社についての基礎的な内容を理解させたい。 中間IIIは、72.3%の正答率で、実生活に関する資料の読み取りが概ねできていた。 																	

(注) 学年:当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆ :目安対象の要素を含むの意。

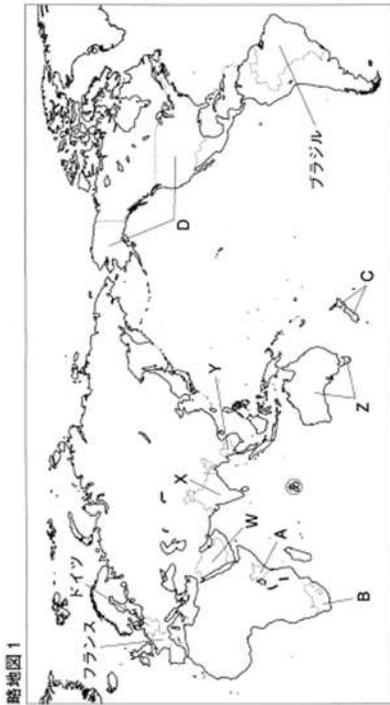
(2) 社会の問題

5 略地図1中のフランスやドイツなどの多くのEU加盟国では、資料1のように、国境を自由に行き来し、買い物などの経済活動を行う人々が多い。この理由について、解答欄の書き出しのことに続けて書け。ただし、パスポートとユーロということばを使うこと。



資料1

1 次のI～IIIの問いに答えなさい。答えを選ぶ問いについては一つ選び、その記号を書きなさい。次の略地図1、略地図2を見て、1～6の問いに答えよ。



略地図1

1 略地図1中の①は、三大洋の一つである。この海洋の名称を答えよ。

2 略地図2は、図の中心の東京からの距離と方位を正しく表した地図である。略地図2中のア～エのうち、東京から北東の方位、約8000 kmに位置している場所として、最も適当なものとはどれか。

3 略地図1中のA～D国の特徴について述べた次のア～エのうち、B国について述べた文として最も適当なものとはどれか。

ア 牧草がよく育つことから牧畜が盛んであり、特に羊の飼育頭数は人口よりも多いことで知られている。

イ サバナが広く分布し、内陸の高地では、茶や切り花の生産が盛んである。

ウ サンペルトとよばれる地域では、先端技術産業が発達している。

エ 過去にはアバルトヘイトとよばれる政策が行われていた国であり、鉱産資源に恵まれている。

4 表は、略地図1中のW～Z国で信仰されている宗教についてまとめたものであり、表中の①～④には、諸群の宗教のいずれかが入る。表中の①、③の宗教として適当なものをそれぞれ答えよ。なお、同じ番号には同じ宗教が入るものとする。

表

	主な宗教別の人口割合 (%)			
W	① (94)	④ (4)	② (1)	
X	② (80)	① (14)	④ (2)	
Y	③ (83)	① (9)		
Z	④ (64)	③ (2)	① (2)	

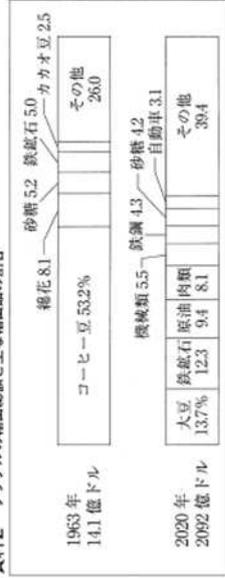
(「ユネスコ世界文化遺産」データベース2023; から作成)

仏教 キリスト教 ヒンドゥー教 イスラム教

社-2

6 資料2は、略地図1中のブラジルの1963年と2020年における輸出総額と主な輸出品の割合を示しており、資料3は近年におけるブラジルの主な輸出品の輸出品と世界における割合及び順位を示している。ブラジルの主な輸出品の変化と特徴について、資料2、資料3をもとに書け。ただし、モノカルチャー経済ということばを使うこと。

資料2 ブラジルの輸出総額と主な輸出品の割合



(「日本国貿易協会」2022/23; などから作成)

資料3 ブラジルの主な輸出品の輸出品と世界における割合及び順位

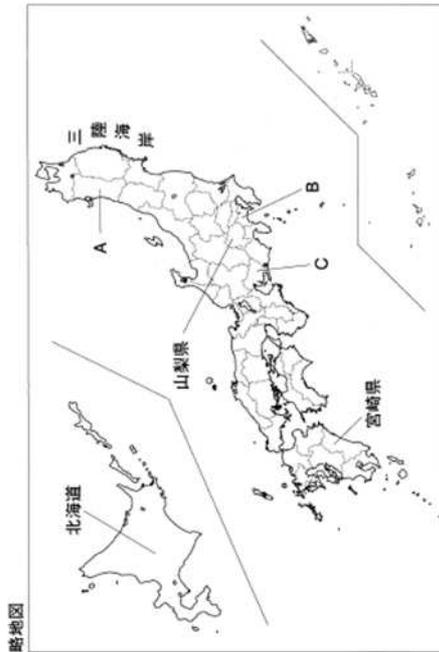
品目	輸出品	割合 (%)	順位
大豆	8297万トン	47.9%	1位
鉄鉱石	343百万トン	20.7%	2位
原油	6226万トン	2.8%	11位
肉類	772万トン	14.7%	2位

(「世界貿易機関」2022/23; などから作成)

社-3

(2) 社会の問題

II 次の略地図を見て、1～5の問いに答えよ。



- 略地図中の北海道では、乳牛を飼育し、生乳やバター、チーズなどの乳製品を生産する農業が盛んである。このような農業を何というか。
- 略地図中の三陸海岸の沖合は、日本でも有数の漁場となっている。その理由の一つとして、この海域が暖流と寒流のぶつかる潮目（潮境）となっていることが挙げられる。三陸海岸の沖合などの東日本の太平洋上で、暖流である日本海流とぶつかる寒流の名称を答えよ。
- 資料1は略地図中のA～C県の人口に関する統計をまとめたものであり、A～ウはA～C県のいずれかである。B県はA～ウのどれか。

資料1

人口増減率(%)	年齢別人口割合(%)		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上
A	1.22	11.8	62.7
イ	-6.22	9.7	52.8
ウ	0.79	13.0	61.7
全国	-0.75	11.9	59.5

※四捨五入しているため、割合の合計が100%にならないところがある。
 ※人口増減率は、2015年から2020年の人口増減率であり、
 (2020年人口-2015年人口)÷2015年人口×100で求められる。
 (「日本経済新聞」2022/2/21、などから作成)

写真1



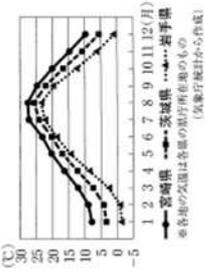
扇状地の中央部は粒の大きい砂や石からできているため、そのための水田には適さないが、ぶどうなどの果樹の栽培に利用されている。

社-4

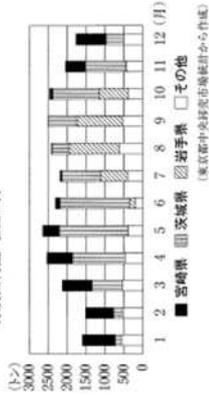
5 略地図中の宮崎県では、写真2のようなビニールハウスなどを用いたピーマンの栽培が盛んである。宮崎県でこのような農業が盛んであるのはなぜか。資料2～資料4をもとに書け。ただし、気候、出荷量、価格ということばを使うこと。



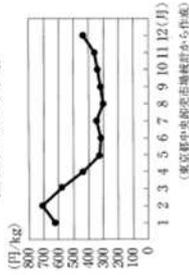
資料2 各地の月別平均気温



資料3 東京都中央卸売市場へのピーマンの月別出荷量 (2021年)



資料4 ピーマンの月別平均価格 (2002年～2021年平均)



III 縮尺が2万5千分の1である次の地形図を見て、1、2の問いに答えよ。

- 地形図の読み取りに関する次のA、Bの文について、下線部の正誤の組み合わせとして最も適切なものはどれか。

A: □で囲まれた①の範囲には、道防者はみられない。
 B: ●で示した②、③間の地形図上での長さは3cmなので、実距離の距離は750mである。

- A (A 正 B 正) イ (A 正 B 誤)
 ウ (A 誤 B 正) エ (A 誤 B 誤)
- 2 次の表は、高知市の指定緊急避難場所一覧の一部を示したものであり、表中のA、イは地形図中に④、⑤で示した避難場所のいずれかである。⑥はA、イのどちらか。また、そのように考えた理由を、⑥周辺の地形の特徴をふまえて、解答欄の書き出しのことにば続けて書け。

	洪水	土砂災害
A	○	○
イ	○	×

○：避難可
 ×：避難不可



社-5

(2) 社会の問題

2 ① 次、1～Ⅲの問いに答えなさい。答えを選ぶ問いについては一つ選び、その記号を書きなさい。次の略年表を見て、1～6の問いに答えよ。

世紀	主なできごと
5	大和政権の大王たちが、たびたび中国に使いを送った A
8	平城京を中心に、仏教や唐の文化の影響を受けた ① 天平文化が栄えた
11	② 政治は、藤原道長・頼通のときに最も栄えた B
13	北条泰時が、武士独自の法である ③ を制定した
16	④ 商業や手工業、流通の発達にとまない、京都などの都市が発展した
18	貨幣経済が広がったことで、 ⑤ 自給自足に近かった農村社会に変化が生じた

- 1 **①**、**②** にあてはまる最も適当なことを書き、須磨器とよばれる土器を作る技術や漢字などを伝えた人々を何というか。
- 2 Aのころ、主に朝鮮半島などから日本列島へ移住し、須磨器とよばれる土器を作る技術や漢字などを伝えた人々を何というか。
- 3 ③について、資料1は天平文化を代表する正倉院宝物の「**螺鈿紫檀五絃琵琶**」と「**溜璃杯**」である。資料1から読み取れる天平文化の特色を書け。ただし、**遣唐使**ということばを使うこと。

資料1



螺鈿紫檀五絃琵琶



溜璃杯

・5弦の琵琶はインドが起源といわれている。
・西アジアで作られたガラスに、中国で銀の脚を付けたと考えられている。

- 4 AとBの間の時期におこった次のア～エのできごとを、年代の古い順に並べよ。
- ア 桓武天皇が長岡京、ついで平安京へ都を移し、政治を立て直そうとした。
- イ 白河天皇が位を息子にゆすり、上皇となったのちも政治を行う院政をはじめた。
- ウ 聖徳太子が蘇我馬子と協力し、中国や朝鮮半島の国々にならった新しい政治を行った。
- エ 関東地方で平将門、瀬戸内地方で藤原純友がそれぞれ反乱を起こした。
- 5 ⑥について述べた次の文の **X**、**Y** にあてはまる最も適当なことを書き、その記号を書きなさい。

資料2 洛中洛外図屏風 (米沢市上杉博物館蔵)



資料2は、「洛中洛外図屏風」の中に描かれている16世紀後半の祇園祭の様子である。平安時代から行われていたこの祭は、1467年に始まった **X**、**Y** で中断したが、京の有力な商人業者である **X**、**Y** によって再興され、現在まで続いている。

ア (X) 応仁の乱 Y 惣
イ (X) 応仁の乱 Y 町衆
ウ (X) 壬申の乱 Y 惣
エ (X) 壬申の乱 Y 町衆

社-6

6 ⑥に関する次の文の **□** に適することばを補い、これを完成させよ。

商品作物の栽培や農具・肥料の購入などで、農村でも貨幣を使う機会が増えた。その結果、土地を集めて地主となる農民が出る一方、土地を手放して小作人になる者や、都市に出かぎに行く者が出るなど、**□** という変化が生じた。

Ⅱ 次は、中学生が「近代以降の日本の歴史」について調べ学習をしたときにまとめた **【あ】～【え】** の4枚のカードと、先生と生徒の会話の一部である。1～5の問いに答えよ。

<p>【あ】近代産業の発展 ⑥ 日清戦争前後に軽工業部門を中心に産業革命が進展した。⑦ 日露戦争前後には重工業部門が発達し、近代産業が発展した。</p>	<p>【い】国際協調と国際平和 第一次世界大戦後に、世界平和と国際協調を目的とする ⑧ が設立された。また軍備縮小をめざすワシントン会議が開かれた。</p>
<p>【う】軍部の台頭 ⑨ 五・一五事件や二・二六事件が発生し、軍部が政治的な発言力を強め、軍備の増強を進めていった。</p>	<p>【え】民主化と国際社会への復帰 戦後、GHQの占領下で、政治・経済面の民主化がはかられた。また ⑩ シンフランシスコ平和条約を結び、独立を回復した。</p>

先生：複数のカードに戦争や軍備ということばが出てきますが、**【い】** のカードのころには、第一次世界大戦に参加した国や新たな独立国で民主主義が拡大していきました。生徒A：日本でも、民主主義的思想の普及やさまざまな社会運動が開かれていたのですね。

先生：そうです。大正時代を中心として政治や社会に広まった民主主義の風潮や動きを **②** とよびます。

生徒B：でもその後の流れは、**【う】** のカードのように、軍部が台頭して戦争への道を歩んでいったのですね。

生徒A：なぜ、第一次世界大戦の反省はいかされなかったのかな。どうして、その後の戦争を防ぐことができなかったのだろうか。

先生：そのことについて、当時の世界や日本の政治・経済の情勢から考えてみましょう。

- 1 **①**、**②** にあてはまる最も適当なことを書き、**①** は漢字4字で書け。
- 2 ⑥に関して、日清戦争前後のできごとについて述べた次の文の **X**、**Y** にあてはまることばを組み合わせて最も適当なものを選び、**⑥** にあてはまることばの組み合わせととして最も適当なものをどれか。

明治政府は、日清戦争直前の1894年、陸奥宗光外相のときにイギリスとの交渉で **X** に成功した。また、日清戦争後の1895年に下関条約を結んだが、**Y** により遼東半島を返還した。

	X	Y
ア	関税自主権の回復	日比谷焼き打ち事件
イ	関税自主権の回復	三国干渉
ウ	領事裁判権(治外法権)の撤廃	日比谷焼き打ち事件
エ	領事裁判権(治外法権)の撤廃	三国干渉

資料1



3 ⑥に関して、資料1の人物は、この戦争に出兵した弟を思って「君死にたまふことなかれ」という詩をよんだことで知られている。この人物は誰か。

社-7

(2) 社会の問題

3 次の1～Ⅲの問いに答えなさい。答えを選ぶ問いについては一つ選び、その記号を書きなさい。
 Ⅰ 次の文は、ある中学生が「よりよい社会をつくるために」というテーマで、公民的分野の学習を振り返ってまとめたものの一節である。1～5の問いに答えよ。

よりよい社会をつくるために

<p>◇ 人権の保障と日本国憲法 基本的人権は、⑥個人の尊重の考え方に基づいて日本国憲法で保障されている。社会の変化にとまらぬ、⑧「新しい人権」が主張されるようになった。</p>	<p>◇ 持続可能な社会の形成 世代間や地域間の公平、男女間の平等、貧困削減、⑤環境の保全、経済の開発、社会の発展等を調和の下に進めていく必要がある。</p>
<p>◇ 国民の自由や権利を守る民主政治 国の権力を立法権、行政権、司法権の三つに分け、それぞれ、⑨国会、内閣、裁判所に担当させることで権力の集中を防ぎ、国民の自由と権利を守ろうとしている。</p>	<p>◇ 民主政治の発展 民主政治を推進するために、国民一人一人が政治に対する関心を高め、⑩選挙などを通じて、政治に参加することが重要である。</p>

よりよい社会の実現を目指し、現代社会に見られる課題の解決に向けて主体的に社会に関わろうとすることが大切である。

1 次の文は、⑩に関する日本国憲法の条文である。□にあてはまることばを漢字2字で書け。

第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び□追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

2 ⑩に関して、「新しい人権」に含まれる権利として最も適当なものとはどれか。

- ア 自由に職業を選択して働き、お金や土地などの財産を持つ権利
 - イ 個人の私的な生活や情報を他人の干渉などから守る権利
 - ウ 国や地方の公務員の不法行為を受けた損害に対して賠償を求める権利
 - エ 労働組合が賃金などの労働条件を改善するために使用者と交渉する権利
- 3 ⑩に関して、ダムや高速道路など、大規模な開発事業を行う際に、事前に周辺の環境にどのような影響があるか調査・予測・評価することを何というか。

社-9

資料2 第27代から第31代首相と所属・出身

代	首相	所属	出身
27	山口 基幸	立憲民政党	立憲民政党
28	若槻礼次郎	立憲民政党	立憲民政党
29	犬養 毅	立憲政友会	立憲政友会
30	斎藤 実	進 軍	進 軍
31	岡田 啓介	海 軍	海 軍

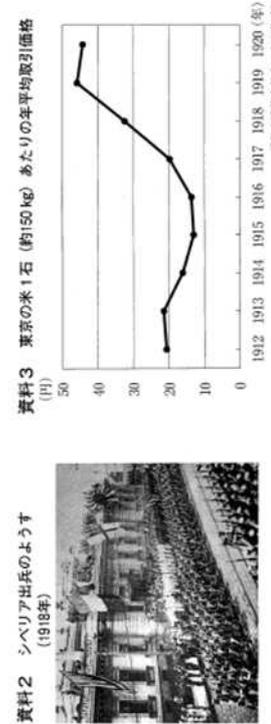
4 ⑥に関する次の文の□にあてはまることばを、資料2を参考に答えよ。ただし、□には同じことばが入る。

大義殺首相が暗殺されたこの事件によって、□の党首が首相となっていた□内閣の時代が終わわり、終戦まで軍人出身者が首相になることが多くなった。

5 ⑧に関して、この条約が結ばれた以前のできごととして、最も適当なものはどれか。

- ア 朝鮮戦争がはじまった。
- イ 沖縄が日本に復帰した。
- ウ 東海道新幹線が開通した。
- エ パブル経済が崩壊した。

Ⅲ 資料1は米騒動の様子を描いたものである。米騒動がおこった理由を、資料2、資料3を参考にして書け。ただし、シベリア出兵と価格ということばを使うこと。



社-8

(2) 社会の問題

- 1 ④に関して、消費税や酒税など税を納める人と負担する人が異なる税を何とというか。
 2 ⑥に関して、訪問販売や電話勧誘などで商品を購入した場合、一定期間内であれば資料の解除ができる。売り手に返付することで契約を解除することができる。この制度を何とというか。
 3 ⑥に関して述べた次の文の X、 Y にあてはまることはどの組み合わせとして最も適当なものはどれか。

資料

消費者が商品を購入する際に、販売者が「この商品には消費税が課税されています」と表示し、消費者が「はい」と答えると、販売者は「消費税はお客様が負担するものです」と説明する。また、販売者は「消費税はお客様が負担するものです」と説明する。また、販売者は「消費税はお客様が負担するものです」と説明する。

一般的に、 X のときには消費が増え、商品の需要が供給を上回ると、価格が高くなります。また、 Y のときには消費が減少するため、物価が下がります。 Y がおこる。

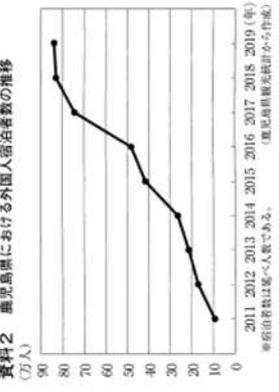
- A (X) 好況 Y デフレーション I (X) 不況 Y デフレーション
 U (X) 好況 Y インフレーション E (X) 不況 Y インフレーション
 4 ④について述べた文として誤っているものはどれか。
 A 政府資金の取り扱いは行う。
 I 日本銀行券とよばれる紙幣を発行する。
 U 一般の銀行に対して資金の貸し出しや、預金の受け入れを行う。
 E 家計や企業からお金を預金として預かる。

5 ⑥について述べた次の文の に適することばを補い、これを完成させよ。ただし、負担ということばを使うこと。
 株主には、株式会社が生産した場合であっても、 という有限責任が認められている。

資料 1

エレベーター
Elevator エレベーター 电梯
2F 鹿児島中央駅
KAGOSHIMA CHAO STATION

III 資料 1 は、鹿児島中央駅に設置されているエレベーターの場所を案内している標識の一部である。この標識にみられる表記の工夫について、資料 2 をもとに 50 字以上 60 字以内で書け。



社一 11

- 4 ④に関して、予算の議決における衆議院の優越について述べた次の文の X、 Y にあてはまることはどの組み合わせとして最も適当なものか。

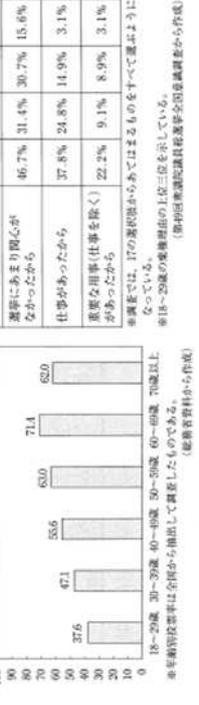
予算について、参議院で衆議院と異なる議決をした場合に X を開いても意見が一致しないときや、参議院が衆議院の可決した予算を受け取ったあと Y 日以内に議決しないときは、衆議院の議決が国会の議決となる。

- A (X) 両院協議会 Y 30 I (X) 両院協議会 Y 10
 U (X) 公聴会 Y 30 E (X) 公聴会 Y 10

資料 1 期日前投票所の様子

資料 2 高校生の対象とした独自の選挙チラシを配布し、情報提供・啓発を実施。生徒が選挙休みや放課後に投票できるよう、各学校ごとに開校時間を配慮。

5 中学生のゆきさんは、⑥に関して、資料 1、資料 2 の取り組みがあることを知った。資料 1、資料 2 の取り組みのねらいとして考えられることは何か。資料 3、資料 4 をもとにして書け。



資料 4 年齢別棄権理由とその割合 (第49回衆議院議員総選挙 [2021年実施])

理由	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
選挙にあまり関心がないから	46.7%	31.4%	30.7%	15.6%	15.6%	15.6%
仕事があったから	37.8%	24.8%	14.9%	3.1%	3.1%	3.1%
重要な用事(仕事を除く)があったから	22.2%	9.1%	8.9%	3.1%	3.1%	3.1%

(総務省資料から作成)

- II 次は、ある中学校の生徒たちが「私たちと経済」について取り組むことを行った調べ学習のテーマと調べたことの一覧である。1～5の問いに答えよ。

班	テーマ	調べたこと
1	政府の経済活動	③ 租税の意義と役割、財政の役割と課題
2	消費生活と経済	消費者の権利と責任、消費者問題、④ 消費者を守る制度
3	市場のしくみと金融	⑤ 景気の変動と物価、⑥ 日本銀行の役割
4	生産と労働	⑦ 企業の種類、⑧ 株式会社のしくみ、労働者の権利と労働問題

社一 10

(3) 社会の解答例

社会解答例

大問	配点	問題区分	解答例
①	31点	I	<p>1 インド洋</p> <p>2 ウ</p> <p>3 エ</p> <p>4 ① イスラム教 , ③ 仏教</p> <p>5 (多くのEU加盟国では,) 国境でのパスポートの検査がなく, 共通通貨のユーロを使用しているため。</p> <p>6 1963年のブラジルは, コーヒー豆の輸出にたよるモノカルチャー経済の国であったが, 近年は大豆や鉄鉱石など複数の輸出品で世界的な輸出国となっている。</p>
		II	<p>1 酪農</p> <p>2 千島海流(親潮)</p> <p>3 ア</p> <p>4 水はけがよい</p> <p>5 冬でも温暖な気候をいかして生産を行うことで, 他の産地からの出荷量が少なくて価格が高い時期に出荷できるから。</p>
		III	<p>1 ウ</p> <p>2 記号 イ</p> <p>(㊸とは異なり㊹は,) すぐ側に山があり崩壊の危険性があるため, 土砂災害の避難所に適さないから。</p>
②	31点	I	<p>1 ① 摂関</p> <p>② 御成敗式目(貞永式目)</p> <p>2 渡来人</p> <p>3 インドや西アジアの文化の影響を受けたものが, 遣唐使によって日本に伝えられるなど, 国際色豊かであった。</p> <p>4 ウ → ア → エ → イ</p> <p>5 イ</p> <p>6 貧富の差が大きくなる</p>
		II	<p>1 ① 国際連盟</p> <p>② 大正デモクラシー</p> <p>2 エ</p> <p>3 与謝野晶子</p> <p>4 政党</p> <p>5 ア</p>
		III	シベリア出兵を見こした米の買い占めによって米の価格が急激に上昇したから。
③	28点	I	<p>1 幸福</p> <p>2 イ</p> <p>3 環境アセスメント(環境影響評価)</p> <p>4 ア</p> <p>5 投票率の低い若い世代の投票できる機会を増やしたり, 選挙への関心を高めたりすることで, 投票率を上げること。</p>
		II	<p>1 間接税</p> <p>2 クーリング・オフ制度(クーリング・オフ)</p> <p>3 ウ</p> <p>4 エ</p> <p>5 出費した金額以上を負担しなくてもよい</p>
		III	鹿児島県を訪れる外国人の人数が年々増えており, 外国人にも分かるように日本語だけでなく外国語や絵なども用いられている。

8 数学について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(数学)

問	題 内 容	学 年	県 正 答 率									
			0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
1	基本的な計算・知識		71.0									
1	(1) 整数の四則計算	小4	97.5									
	(2) 分数の計算	小6	92.1									
	(3) 文字式の計算	中3	76.1									
	(4) 絶対値の性質	中1	58.2									
	(5) 平方根	中3	62.1									
2	連立方程式	中2	84.9									
3	組み合わせ方	小6	54.2									
4	小数の性質	中3	75.4									
5	相対度数	中1	38.6									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1(1)は、よくできていた。 (2)では、誤答として通分ができていないと思われるものがあつた。 (3)では、誤答として2乗の展開ができていないものがあつた。 (4)では、誤答として15,12,6が多かつた。 (5)では、誤答としてイ、カが多かつた。 小問2では、誤答として片方の値のみ正解のものがあつた。 小問3では、誤答として6通り、12通りが多かつた。 小問4では、誤答として8があつた。分数を小数に表すことはできていると考えられる。 小問5では、誤答として0.395,0.79が多かつた。2校の相対度数の平均、和と考えられる。相対度数の意味について正しく理解させたい。 												
2	数学的な見方や考え方		50.3									
1	(1) 正五角形の内角の和	小5	79.7									
	(2) ひし形の定義	中2	21.8									
	(3) 角度	中2	67.2									
2	作図	中1	49.7									
3	二次方程式の利用	中3	37.8									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1(1)では、誤答として108がみられた。内角の和ではなく、1つの角の大きさのものと考えられる。 小問1(2)では、誤答としてエが非常に多かつた。ひし形などの図形について、定義と性質を正確に理解させ、その重要性を認識させたい。 小問1(3)では、誤答として73, 75, 65などがあつた。 小問2では、線分ADの垂直二等分線まで作図できているものが多かつた。 小問3では、立式したあと、解の公式を用いたものがあつた。条件に合う解の吟味をしていないものもあつた。 												
3	データの活用		63.0									
1	折れ線グラフ	小4	67.4									
2	(1) 階級値	中1	62.6									
	(2) 箱ひげ図	中2	29.1									
3	① 箱ひげ図	中2	96.5									
	② 箱ひげ図	中2	85.9									
	③ 箱ひげ図	中2	51.3									
	④ 箱ひげ図	中2	46.9									
	⑤ 箱ひげ図	中2	64.2									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1では、誤答としてウが多かつた。 小問2(1)では、誤答として「13~14」としているものがみられた。ヒストグラムや箱ひげ図の特徴を正確に捉えさせたい。 小問2(2)では、誤答としてウが多かつた。データからヒストグラムと箱ひげ図を作成しているという認識ができていないようである。 小問3では、③と④の誤答としてイが多かつた。四分位数について深く理解させ、データの特徴を正確に捉えさせたい。 												
4	2乗に比例する関数とその応用		38.7									
1	関数の値	中3	83.0									
2	伴って変わる数量	中3	33.2									
3	(1) 2直線の交点の座標	中3	41.9									
	(2) 関数と確率	中3	5.6									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1は、おおむねできていた。 小問2では、誤答としてイ、ウ、エの3つを選ぶものが多かつた。点Bが原点に近づいていくと勘違いしていると考えられる。点の動きに伴って変化する値について考えさせたい。 小問3(1)では、点Cまでは求められているものが多かつた。また、過程を適切に表現できていないものも多かつた。 小問3(2)では、無解答も多かつた。関数と確率を結びつけられなかつたと考えられる。 												
5	平面図形とその応用		22.5									
1	三平方の定理	中3	70.2									
2	二等辺三角形の証明	中2	18.2									
3	図形における方程式の利用	中3	10.1									
4	三角形の面積	中3	1.3									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1は、おおむねできていた。 小問2では、別解として△ADFと△CEFの合同を利用したものもあつた。 小問3では、無解答が多かつた。 小問4では、無解答が非常に多かつた。 												

(注) 学年:当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆ :目安点対象の要素を含むの意。

(2) 数学の問題

1 次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) $63 \div 9 - 2$ を計算せよ。

(2) $\left(\frac{1}{2} - \frac{1}{5}\right) \times \frac{1}{3}$ を計算せよ。

(3) $(x + y)^2 - x(x + 2y)$ を計算せよ。

(4) 絶対値が7より小さい整数は全部で何個あるか求めよ。

(5) 3つの数 $3\sqrt{2}$, $2\sqrt{3}$, 4について、最も大きい数と最も小さい数の組み合わせとして正しいものを下のア～カの中から1つ選び、記号で答えよ。

	最も大きい数	最も小さい数
ア	$3\sqrt{2}$	$2\sqrt{3}$
イ	$3\sqrt{2}$	4
ウ	$2\sqrt{3}$	$3\sqrt{2}$
エ	$2\sqrt{3}$	4
オ	4	$3\sqrt{2}$
カ	4	$2\sqrt{3}$

数-2

2 連立方程式 $\begin{cases} 3x + y = 8 \\ x - 2y = 5 \end{cases}$ を解け。

3 10円硬貨が2枚、50円硬貨が1枚、100円硬貨が1枚ある。この4枚のうち、2枚を組み合わせてできる金額は何通りあるか求めよ。

4 $\frac{9}{11}$ を小数で表すとき、小数第20位を求めよ。

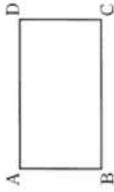
5 下の2つの表は、A中学校の生徒20人とB中学校の生徒25人の立ち幅跳びの記録を、相対度数で表したものである。このA中学校の生徒20人とB中学校の生徒25人を合わせた45人の記録について、200cm以上220cm未満の階級の相対度数を求めよ。

A 中学校		B 中学校	
階級 (cm)	相対度数	階級 (cm)	相対度数
以上		以上	
160 ~ 180	0.05	160 ~ 180	0.04
180 ~ 200	0.20	180 ~ 200	0.12
200 ~ 220	0.35	200 ~ 220	0.44
220 ~ 240	0.30	220 ~ 240	0.28
240 ~ 260	0.10	240 ~ 260	0.12
計	1.00	計	1.00

数-3

(2) 数学の問題

2 右の図のような長方形 ABCD がある。次の【条件】をすべて満たす点 E を、定規とコンパスを用いて作図せよ。ただし、点 E の位置を示す文字 E を書き入れ、作図に用いた線も残しておくこと。

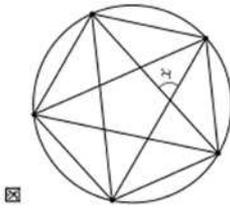


【条件】

- ・線分 BE と線分 CE の長さは等しい。
- ・△BCE と長方形 ABCD の面積は等しい。
- ・線分 AE の長さは、線分 BE の長さより短い。

2 次の 1～3 の問いに答えなさい。

1 次は、先生と生徒の授業中の会話である。次の(1)～(3)の問いに答えよ。



先生：円周を 5 等分している 5 つの点をそれぞれ結ぶと、
図のようにになります。図を見て、何か気づいたことはありますか。

生徒 A：先生、私は正五角形と星形の図形を見つけました。

先生：正五角形と星形の図形を見つけたんですね。

それでは、正五角形の内角の和は何度でしたか。

生徒 A：正五角形の内角の和は 度です。

先生：そうですね。

生徒 B：先生、私は大きさや形の異なる二等辺三角形がたくさんあることに気づきました。

先生：いろいろな図形がありますね。

他の図形を見つけた人はいませんか。

生徒 C：はい、ひし形や台形もあります。

先生：たくさん図形を見つけましたね。

図形に注目すると、②図の∠xの大きさもいろいろなる方法で求めることができそうですね。

(1) にあてはまる数を書け。

(2) 下線部①について、ひし形の定義を下の A～Eの中から 1 つ選び、記号で答えよ。

- A 4 つの角がすべて等しい四角形
- I 4 つの辺がすべて等しい四角形
- ウ 2 組の対辺がそれぞれ平行である四角形
- E 対角線が垂直に交わる四角形

(3) 下線部②について、∠x の大きさを求めよ。

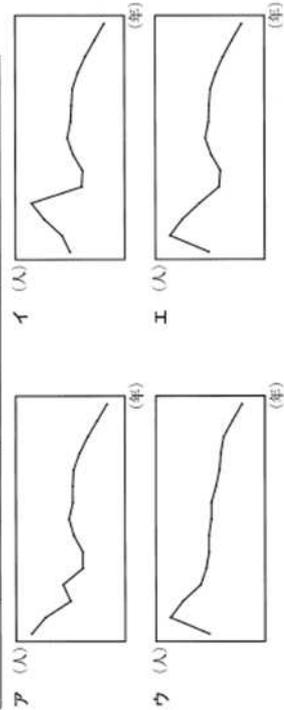
3 底面が正方形で、高さが 3 cm の直方体がある。この直方体の表面積が 80 cm^2 であるとき、底面の正方形の一辺の長さを求めよ。ただし、底面の正方形の一辺の長さを $x \text{ cm}$ として、 x についての方程式と計算過程も書くこと。

(2) 数学の問題

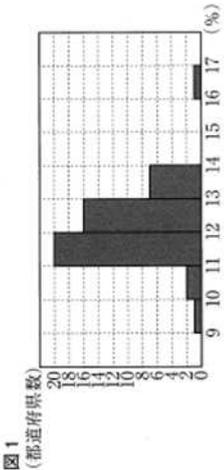
3 国勢調査（1950年～2020年）の結果をもとに表や図を作成した。次の1～3の問いに答えなさい。

1 表は、鹿児島県の人口総数を表したものである。表をもとに、横軸を年、縦軸を人口総数として、その推移を折れ線グラフに表したとき、折れ線グラフの形として最も適当なものを下のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

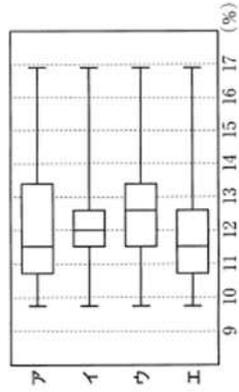
	1950年	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年
人口総数(人)	1804118	2044112	1963104	1853541	1729150	1722902	1784623	1819270
	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	
人口総数(人)	1797824	1794224	1786194	1753179	1706242	1648177	1586256	



2 図1は、2020年における都道府県別の人口に占める15歳未満の人口の割合を階級の幅を1%にして、ヒストグラムに表したものである。鹿児島県は約13.3%であった。次の(1)、(2)の問いに答えよ。



(1) 鹿児島県が含まれる階級の階級値を求めよ。
 (2) 2020年における都道府県別の人口に占める15歳未満の人口の割合を箱ひげ図に表したもとのとして、最も適当なものを下のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。



数一6

3 1960年から2020年まで10年ごとの鹿児島県の市町村別の人口に占める割合について、図2は15歳未満の人口の割合を、図3は65歳以上の人口の割合を箱ひげ図に表したものである。ただし、データについては、現在の43市町村のデータに組み替えたものである。

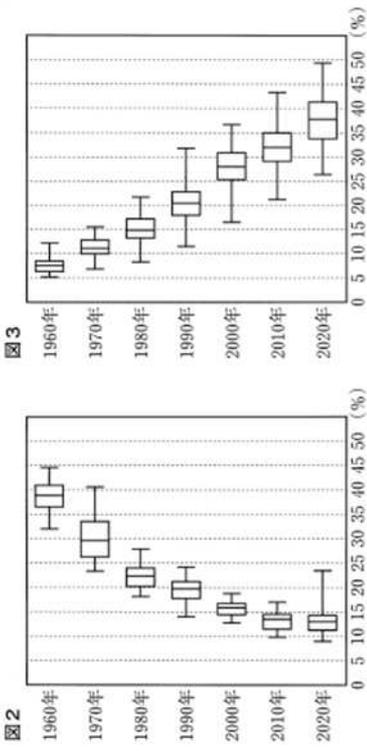


図2や図3から読みとれることとして、次の①～⑤は、「正しい」、「正しくない」、「図2や図3からはわからない」とどれか。最も適当なものを下のア～ウの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

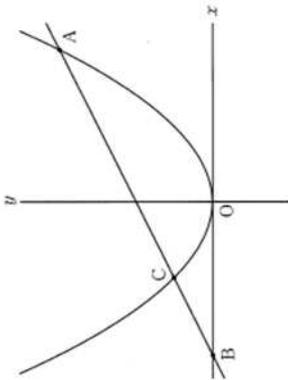
- ① 図2において、範囲が最も小さいのは1990年である。
- ② 図3において、1980年の第3四分位数は15%よりも大きい。
- ③ 図2において、15%を超えている市町村の数は、2010年よりも2020年の方が多い。
- ④ 図3において、2000年は30以上の市町村が25%を超えている。
- ⑤ 図2の1990年の平均値よりも、図3の1990年の平均値の方が大きい。

ア 正しい イ 正しくない ウ 図2や図3からはわからない

数一7

(2) 数学の問題

- 4 下の図で、放物線は関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフであり、点 O は原点である。点 A は放物線上の点で、その x 座標は 4 である。点 B は x 軸上を動く点で、その x 座標は負の数である。2 点 A, B を通る直線と放物線との交点のうち A と異なる点を C とする。次の 1～3 の問いに答えなさい。



- 1 点 A の y 座標を求めよ。
- 2 点 B の x 座標が小さくなると、それにとともなって小さくなるものを下のア～エの中からすべて選び、記号で答えよ。
- ア 直線 AB の傾き イ 直線 AB の切片 ウ 点 C の x 座標 エ $\triangle OAC$ の面積

- 3 点 C の x 座標が -2 であるとき、次の (1), (2) の問いに答えよ。
- (1) 点 B の座標を求めよ。ただし、求め方や計算過程も書くこと。

- (2) 大小 2 個のさいころを同時に投げ、大きいさいころの出た目の数を a 、小さいさいころの出た目の数を b とするとき、座標が $(a-2, b-1)$ である点を P とする。点 P が 3 点 O, A, B を頂点とする $\triangle OAB$ の辺上にある確率を求めよ。ただし、大小 2 個のさいころはともに、1 から 6 までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

(2) 数学の問題

5 図1のような $AB = 6 \text{ cm}$, $BC = 3 \text{ cm}$ である長方形 $ABCD$ がある。

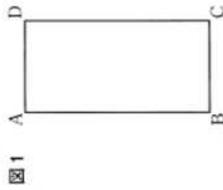


図1

図2は、図1の長方形 $ABCD$ を対角線 AC を折り目として折り返したとき、点 B の移った点を E とし、線分 AE と辺 DC の交点を F としたものである。

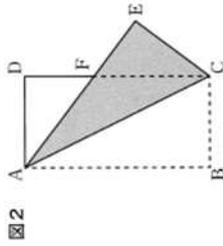


図2

図3は、図2の折り返した部分をもとに戻し、長方形 $ABCD$ を対角線 DB を折り目として折り返したとき、点 C の移った点を G とし、線分 DG と辺 AB の交点を H としたものである。

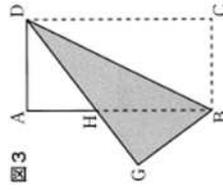


図3

図4は、図3の折り返した部分をもとに戻し、線分 DH と対角線 AC 、線分 AF の交点をそれぞれ I , J としたものである。

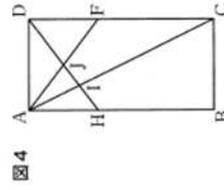


図4

次の1~4の問いに答えなさい。

1 長方形 $ABCD$ の対角線 AC の長さを求めよ。

2 図2において、 $\triangle ACF$ が二等辺三角形であることを証明せよ。

3 線分 DF の長さを求めよ。

4 $\triangle AIJ$ の面積を求めよ。

(3) 数学の解答例

数 学 解 答 例

大 問	配 点	小 問	解 答 例
1	27点	3点 3点 3点 3点 3点 3点 3点 3点	1(1) 5 (2) $\frac{1}{10}$ (3) y^2 (4) 13 (個) (5) ア 2 $(x=) 3, (y=) -1$ 3 4 (通り) 4 1 5 0.40
2	17点	3点 3点 3点 4点 4点	1(1) 540 (2) イ (3) 72 (度) 2 3 (方程式と計算過程) 直方体の表面積が 10 cm^2 であるから $x^2 + 2 + 3x + 4 = 80$ $2x^2 + 12x - 80 = 0$ $x^2 + 6x - 40 = 0$ $(x+10)(x-4) = 0$ $x = -10, x = 4$ $x > 0$ より $x = 4$ (答) 4 (cm)
3	16点	2点 2点 2点 2点 2点 2点 2点	1 エ 2(1) 13.5 (%) (2) イ 3① イ ② ア ③ ウ ④ ア ⑤ ウ
4	15点	3点 3点 5点 4点	1 4 2 ア, ウ 3(1) (2) $\frac{2}{9}$ 3(1) (求め方や計算過程) 点Cは $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフ上の点でx座標が-2であるから $y = \frac{1}{4} \times (-2)^2$ $= 1$ よって、点C(-2, 1)となる。 直線ACの式を $y = mx + n$ とおくと、 点Aを通るから $4 = 4m + n$ …① 点Cを通るから $1 = -2m + n$ …② ①、②より $m = \frac{1}{2}, n = 2$ 。 よって、直線ACの式は $y = \frac{1}{2}x + 2$ である。 点Bは直線AC上にあって、x軸上にあるから $0 = \frac{1}{2}x + 2$ $x = -4$ (答) B(-4, 0)
5	15点	3点 5点 3点 4点	1 $3\sqrt{5}$ (cm) 2 3 $\frac{9}{4}$ (cm) 4 $\frac{135}{176}$ (cm ²) 2 (証明) $\triangle AEC$ は $\triangle ABC$ を折り返したものであるから $\angle BAC = \angle FAC$ …① $AB \parallel DC$ より、錯角は等しいので $\angle BAC = \angle FCA$ …② ①、②より $\angle FAC = \angle FCA$ よって、 $\triangle ACF$ は2つの角が等しいので、二等辺三角形である。

9 理科について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(理科)

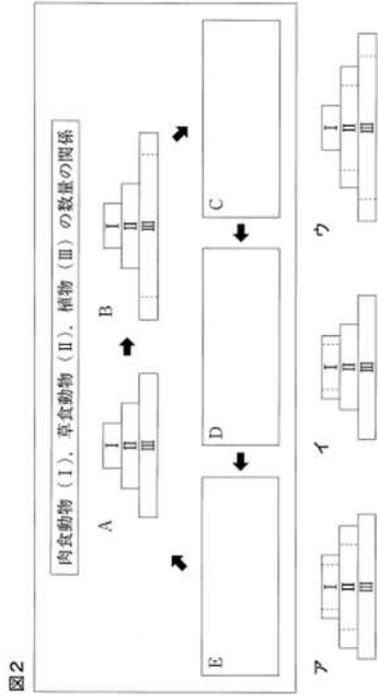
問 題 内 容	学年	県 正 答 率											
		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100 %	
1 領域を融合させた問題		67.4											
1	力の合成	中3	70.7										
2	化学反応式	中2	57.2										
3	顕微鏡の使い方	中1	75.6 ☆										
4	震度	中1	67.5 ☆										
5	(1) 圧力	中2	44.9										
	(2) 食物連鎖	中3	77.6										
	(3) 仕事率	中3	74.2										
	(4) プラスチック	中3	71.3 ☆										
<ul style="list-style-type: none"> 小問2では、正答率が57.2%と低く、係数の間違いの誤答がみられた。化学反応式についての基本的な内容の定着を十分に図りたい。 小問3は正答率が75.6%と比較的高いが、誤答では「エ」が多くみられた。日頃の授業において、顕微鏡での観察では、顕微鏡の正しい扱い方を含めて観察器具の扱い方などを身に付けさせたい。 小問4では、「7強」、「9」の誤答が多くみられた。震度階級を正しく理解させたい。 小問5(1)では、正答率が44.9%と低く、「20」や「200」の誤答が多くみられた。圧力は単位面積あたりの力の大きさで表されることなどについてもしっかりと理解させたい。 													
2 地球領域の問題		59.3											
I	1	溶岩	中1	73.9 ☆									
	2	火山の特徴	中1	48.0									
	3	火山灰の観察	中1	76.8									
	4	風向・風速	中2	48.5									
II	1	黒点	中3	88.0 ☆									
	2	観察、実験の技能	中3	53.6									
	3	観察からわかること	中3	81.0									
	4	黒点の大きさ	中3	26.4									
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問2では、正答率が48.0%と低く、「噴火とようす」、「火山噴出物の色」の特徴以外の内容についての解答も多くみられた。 中間I小問4では、正答率が48.5%と低く、bでは「イ 南東」の誤答が多くみられた。風向を正しく理解させたい。また、cでは、「ア 3」の誤答が多くみられた。 中間II小問2では、正答率が53.6%と低く、「ア 東」の誤答が多くみられた。授業において、観察する技能を正しく身に付けさせたい。 中間II小問4では、正答率が26.4%と低い。問題文から比例の関係で考えることを理解し、計算することができていないと考えられる。 													
3 粒子領域の問題		36.6											
I	1	電極と電流の向き	中3	54.2									
	2	化学変化のモデル図	中3	55.3									
	3	(1) エネルギーの変換	中3	57.7									
(2) 実験操作に関する考察		中3	21.8										
II	1	二酸化炭素の性質	中1	57.4 ☆									
	2	塩酸と炭酸水素ナトリウムの反応における量的関係	中2	28.2									
	3	炭酸水素ナトリウムの割合	中2	10.3									
<ul style="list-style-type: none"> 中間Iでは、小問1、2、3(1)が正答率が50%台と低い。ダニエル電池について、モデル等を用いて考えさせたりして基本的な内容の定着を図りたい。 中間I小問3(2)では、正答率が21.8%と低く、「電子が銅板に移動した」や「亜鉛イオンが電子を失う」の誤答もみられた。授業では、ダニエル電池の作製を通して、電子の移動についてしっかりと理解させたい。 中間II小問1では、正答率が57.4%と低く、「密度」を用いていない解答もみられた。授業では、気体の捕集などの実験を通して、それぞれの気体の性質をしっかりと理解させた上で定着させたい。 中間II小問2では、正答率が28.2%と低い。問題文及び表を読み取れていない解答も多くみられた。 													
4 生命領域の問題		67.7											
I	1	感覚	中2	99.6 ☆									
	2	(1) 信号が伝わる時間	中2	46.2									
		(2) 末しょう神経	中2	60.4									
		(3) 反射	中2	58.9									
II	1	グループ分け	中1	74.8									
	2	植物の分類	中1	68.5									
	3	動物の分類	中1	53.2									
	4	両生類の生活場所	中1	82.9									
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1では、正答率が99.6%と高い。受け取る刺激と感覚の基本的な内容の定着は図られていると考えられる。 中間I小問2(3)では、正答率が58.9%と低い。②では、「ウ 手の皮ふ」の誤答が多くみられた。 中間II小問3は、正答率が53.2%と低く、「② ネズミ」、「③ イカ」の誤答もみられた。授業では観察及び資料等から見いだした観点や基準を基に、目的に応じた多様な分類の仕方があり、分類することの意味に気づかせるような学習活動を設定したい。 中間II小問4は、正答率が82.9%と高く、両生類の生活場所についての基本的な内容の定着は図られていると考えられる。なお、「幼生」、「成体」ということばを使っていない解答もみられた。 													
5 エネルギー領域の問題		47.3											
I	1	光の屈折	中1	81.2 ☆									
	2	凸レンズによる像のでき方	中1	61.5									
	3	凸レンズの性質	中1	44.6									
	4	光の道筋の作図	中1	17.2									
II	1	回路	小3	65.6 ☆									
	2	電圧と電流の関係	中2	78.5									
	3	抵抗器に流れる電流	中2	46.1									
	4	消費する電力	中2	15.1									
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1は、正答率が81.2%と高い。屈折の用語について基礎的な知識の定着は図られていると考えられる。 中間I小問4は、正答率が17.2%と低い。点Bを通った後の光の道すじが凸レンズの軸と平行になるような誤答がみられた。 中間II小問2は、正答率が78.5%と比較的高い。なお、表から得られる値を正しく「・」で示せていない解答もみられた。グラフの作成の技能をしっかりと身に付けさせたい。 中間II小問4では、正答率が15.1%と低い。授業では、抵抗を直列又は並列につないだ回路におけるそれぞれの規則性を見いだして理解するための実験を行うなど、探究の過程を踏まえた指導の工夫を図りたい。 													

(注) 学年:当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆:目安点対象の要素を含むの意。

(2) 理科の問題

- 5 ある日、動物園に行ったみずきさんは、いろいろな動物を見たり、乗馬体験をしたりした。
- (1) 動物のエサやり体験コーナーに行くとき、エサの入った箱が水平な机の上に置かれていた。エサと箱を合わせた質量を10 kg、エサの入った箱が机と接している部分の面積を0.2 m²とすると、机が箱から受ける圧力の大きさは何 Pa か。ただし、質量100 gの物体にはたらく重力の大きさを1 Nとする。
- (2) シマウマやライオンを見た後、展示館に行くとき、図2のような展示があった。これは、何らかの原因で、植物がふえたとしても、長い時間をかけてもとのつり合いのとれた状態にもとどることを示した模式図である。生物の数量の関係を表したものになるように、C～Eにあてはまるものをア～ウから一つずつ選べ。なお、図2のAはつり合いのとれた状態を示しており、図2及びア～ウの縦線(Ⅰ)はAの状態と同じ数量を表している。



- (3) 乗馬体験コーナーで、「以前は仕事率の単位に馬力が使われ、1馬力は約735 Wであった。」という話を聞いた。735 Wの仕事率で44100 Jの仕事をするとき、かかる時間は何秒か。
- (4) 売店に、「廃棄プラスチック削減に取り組んでいます。」という張り紙があった。みずきさんは、人間の生活を豊かで便利にしている科学技術の利用と自然環境の保全について関心をもち、家でプラスチックについて調べた。プラスチックについて述べたものとして、誤っているものはどれか。
- ア 水にしみむものもある。
- イ 有機物である。
- ウ 人工的に合成されたものはない。
- エ 薬品による変化が少ない。

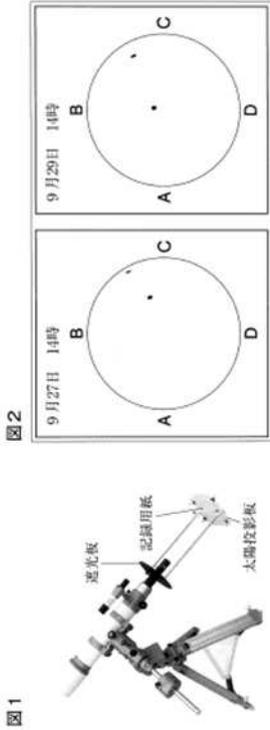
理-3

- 1 次の各問いに答えなさい。答えを選ばないについては記号で答えなさい。
- 1 図1の力A、力Bの合力の大きさは何Nか。ただし、図1の方眼の1目盛りを1 Nとする。
- 2 メタン(CH₄)を燃焼させると、二酸化炭素と水ができる。この化学変化を表す次の化学反応式を完成せよ。
- $$\text{CH}_4 + 2\text{O}_2 \rightarrow \text{---}$$
- 3 顕微鏡を使って小さな生物などを観察するとき、はじめに視野が最も広くなるようにする。次のア～エのうち、最も広い視野で観察できる接眼レンズと対物レンズの組み合わせはどれか。
- ア 10倍の接眼レンズと4倍の対物レンズ
- イ 10倍の接眼レンズと10倍の対物レンズ
- ウ 15倍の接眼レンズと4倍の対物レンズ
- エ 15倍の接眼レンズと10倍の対物レンズ
- 4 震度について、次の文中の□にあてはまる数値を書け。
- ある地点での地震によるゆれの大きさは震度で表され、現在、日本では、気象庁が定めた震度階級によって震度0から震度□までの10階級に分けられている。

理-2

(2) 理科の問題

II たかしさんとひろみさんは、太陽の黒点について調べるため、図1のような天体望遠鏡を使って太陽の表面を数日間観察した。そのとき太陽の像を記録用紙の円の大きさに合わせて投影し、黒点の位置や形をスケッチした。その後、記録用紙に方位を記入した。図2は、スケッチしたもののうち2日分の記録である。



- 1 黒点が黒く見える理由を、解答欄の書き出しのことばに続けて書け。
- 2 図2のA～Dには記入した方位が書かれている。天体望遠鏡を固定して観察していたとき、記録用紙の円からAの方向へ太陽の像がずれ動いていた。Aはどれか。
ア 東 イ 西 ウ 南 エ 北

次は、観察の後の2人と先生の会話である。

たかし：数日分の記録を見ると、黒点の位置が変化していることから、太陽は a していることがわかるね。

ひろみ：周辺部では細長い形に見えていた黒点が、数日後、中央部では円形に見えたことから、太陽は b であることもわかるね。

先生：そのとおりですね。

たかし：ところで、黒点はどれくらいの大きさなのかな。

ひろみ：地球の大きさと比べて考えてみようよ。

- 3 この観察からわかったことについて、会話文中の a と b にあてはまることばを書け。
- 4 下線部について、記録用紙の上で太陽の像は直径10 cm、ある黒点はほぼ円形をしていて直径が2 mm であったとする。この黒点の直径は地球の直径の何倍か。小数第2位を四捨五入して小数第1位まで答えよ。ただし、太陽の直径は地球の直径の109倍とする。

理-5

2 次のI、IIの各問いに答えなさい。答えを運ぶ問いについては記号で答えなさい。

I ある日、桜島に行ったゆうゆうさんが、気づいたことや、桜島に関してタブレット端末や本を使って調べたり考えたりしたことを、図のようにまとめた。

桜島について ○年△月□日

〈気づいたこと〉

- ・ゴツゴツした岩がたくさんあった。
- ・道のあちこちに火山灰が見られた。

〈火山の形〉

傾斜がゆるやかな形	円すい状の形 (桜島)	ドーム状の形
弱い ←	マグマのねばりけ	→ 強い

〈火山灰の観察〉

目的：火山灰にふくまれる一つ一つの粒の色や形を調べる。

方法：少量の火山灰を a した後、適切な操作を行い、双眼実体顕微鏡で粒をくわしく観察する。

〈火山灰の広がり〉

桜島の降灰予報から火山灰の広がりについて考えた。右の桜島の降灰予報から、桜島上空の風向は b であることがわかる。もし、桜島上空に上がった火山灰が、この風によって10 m/sの速さで30 km離れた地点Pの上空に到達したとすると、そのときにかかる時間は、 c 分であると考えられる。

- 1 地下にあるマグマが地表に流れ出たものを何というか。
- 2 図の〈火山の形〉について、噴火のようすと火山噴出物の色の特徴を解答欄の書き出しのことばに続けて書け。
- 3 図の〈火山灰の観察〉について、 a にあてはまる操作として最も適当なものとはどれか。
ア 蒸発皿に入れて水を加え、指でおして洗う イ スライドガラスにのせ紫色液をたらす
ウ ビーカーに入れてガスバーナーで加熱する エ 乳鉢に入れて乳鉢を使ってすりつぶす
- 4 図の〈火山灰の広がり〉について、 b と c にあてはまるものとして最も適当なものはそれぞれどれか。
b ア 北東 イ 南東 ウ 南西 エ 北西
c ア 3 イ 10 ウ 50 エ 300

理-4

(2) 理科の問題

4 Ⅰ 次のⅠ、Ⅱの各問に答えなさい。答えを選ぶ問については記号で答えなさい。
Ⅱ ゆきさんとりんさんは、図1の生物をさまざまな特徴の共通点や相違点をもとに分類している。次は、そのときの2人と先生の会話の一部である。

図1

動物	植物
イカ	アサガオ
カブトムシ	イチヨウ
カエル	イネ
スズメ	ゼニコケ
トカゲ	
ネズミ	
メダカ	

ゆき：動物について、動き方の観点で分類すると、カブトムシとスズメは、はねや翼をもち、飛ぶことができると同じグループになるね。
りん：ほかに体の表面の観点で分類すると、トカゲとメダカにだけ□があるから、同じグループになるね。
先生：そのとおりですね。
ゆき：植物と動物について、それぞれ観点を並べて分類してみようよ。

- 1 会話文中の□にあてはまることを書き。
- 2 2人は図1の植物について、表1の観点で図2のように分類した。図2のA～Fは、表1の基準のA～カのいずれかである。AとDはそれぞれア～カのとれか。

表1

観点	基準
胚珠	ア 胚珠がむきだしである イ 胚珠が子房に包まれている
子葉	ウ 子葉は1枚 エ 子葉は2枚
種子	オ 種子をつくる カ 種子をつくらぬ

図2

A	ゼニコケ
C	イチヨウ
B	E イネ
D	F アサガオ

- 3 2人は図1の動物について、表2の観点で図3のように分類した。図3の②、③にあてはまる動物はそれぞれ何か。なお、図3のG～Jは表2の基準のキ～コのいずれかであり、図3の①～③は、イカ、スズメ、ネズミのいずれかである。

表2

観点	基準
子の生まれ方	キ 卵生 ク 胎生
背骨の有無	ケ 背骨がある コ 背骨がない

図3

G	①	H
I	カエル	②
J	トカゲ	カブトムシ
	メダカ	
	③	

- 4 2人は図1の動物について、「生活場所」を観点にして、「陸上」、「水中」という基準で分類しようとしたが、一つの動物だけはっきりと分類することができなかった。その動物は何か。また、その理由を生活場所に注目して、「幼生」、「成体」ということばを使って書き。

理-9

4 Ⅰ 次のⅠ、Ⅱの各問に答えなさい。答えを選ぶ問については記号で答えなさい。
Ⅱ 動物は外界のさまざまな情報を刺激として受けとっている。

1 図1のヒトの〈受けとる刺激〉と〈感覚〉の組み合わせが正しくなるように、図1の「・」と「○」を実線(—)でつなげ。

〈受けとる刺激〉	〈感覚〉
光	・ 聴覚
におい	・ 視覚
音	・ 嗅覚

2 刺激に対するヒトの反応を調べるため、意識して起こる反応にかかる時間を計測する実験を次の手順1～4で行った。

手順1 図2のように、5人がそれぞれの間で棒を持ち、輪になる。

手順2 Aさんは、右手でストップウォッチをスタートさせると同時に、右手で棒を引く。左手の棒を引かれたBさんは、すぐに右手で棒を引く。Cさん、Dさん、Eさんも、Bさんと同じ動作を次々に続ける。

手順3 Aさんは左手の棒を引かれたらすぐにストップウォッチを止め、かかった時間を記録する。

手順4 手順1～3を3回くり返す。

表

回数	結果(秒)	1人あたりの時間(秒)
1回目	1.46	
2回目	1.39	
3回目	1.41	
平均		X

表は、実験の結果をまとめたものである。ただし、表には結果から求められる値を示していない。

- (1) 表のXにあてはまる値はいくらか。小数第3位を四捨五入して小数第2位まで答えよ。
- (2) 中枢神経から枝分かれして全身に広がる感覚神経や運動神経などの神経を何というか。
- (3) 実験の「意識して起こる反応」とは異なり、意識とは無関係に起こる反応もある。次の文中の①、②について、それぞれ正しいものはどれか。

手で熱いものにさわってしまったり、とっさに手を引っ込める反応が起こる。このとき、命令の信号が①(ア 脳 伊 せきずい)から筋肉に伝わり、反応が起こっている。また、熱いという感覚が生じるのは、②(ア 脳 伊 せきずい)ウ 手の皮ふ)に刺激の信号が伝わったときである。

理-8

(2) 理科の問題

5 次の I, II の各問に答えなさい。答えを選ぶ問については記号で答えなさい。

I 凸レンズのはたらきを調べるため、図1のように、光源、凸レンズ、スクリーン、光学台を使って、焦点距離 10 cm の凸レンズ、スクリーン、光学台を使って実験装置を組み立て、次の実験1～3を行った。このとき、凸レンズは光学台に固定した。

実験1 光源を動かして、光源から凸レンズまでの距離 X を 30 cm から 5 cm まで 5 cm ずつ短くした。そのたびに、はっきりとした像がうつるようにスクリーンを動かして、そのときの凸レンズからスクリーンまでの距離 Y をそれぞれ記録した。表はその結果であり、「-」はスクリーンに像がうつらなかったことを示す。

X [cm]	30	25	20	15	10	5
Y [cm]	15	17	20	30	-	-

実験2 図1の装置でスクリーンにはっきりとした像がうつったとき、図2のように、凸レンズの下半分を光を通さない厚紙でかくした。このとき、スクリーンにうつった像を観察した。

実験3 図1と焦点距離の異なる凸レンズを使って、スクリーンにはっきりとした像がうつるようにした。

図3は、このときの光源、凸レンズ、スクリーンを真横から見た位置関係と、点Aから凸レンズの点Bに向かって進んだ光の道すじを模式的に表したものである。

- 凸レンズのような透明な物体の境界面に、ななめに入射した光が境界面で曲がる現象を光の何というか。
- 実験1で、スクリーンに光源と同じ大きさの像がうつった。このときの X は何 cm か。
- 実験2について述べた次の文中の①、②について、それぞれ正しいものはどれか。

凸レンズの下半分を厚紙でかくしたとき、かくす前と比べて、観察した像の明るさや形は次のようになる。
 ・観察した像の明るさは① (ア 変わらない イ 暗くなる)。
 ・観察した像の形は② (ア 変わらない イ 半分の形になる)。

- 実験3で、点Bを通った後の光の道すじを解答欄の図中に実線(—)でかけ、ただし、作図に用いる補助線は破線(----)でかけ、消さずに残すこと。また、光が曲がって進む場合は、凸レンズの中心線で曲がるものとする。

理-10

II 電流と電圧の関係を調べるために、図1のように電源装置、スイッチ、電流計、電圧計、端子P、端子Qを接続して、端子P、Q間に抵抗器を取り付けてスイッチを入れたところ、抵抗器に電流が流れた。

次に、端子P、Q間の抵抗器をはずし、抵抗の大きさが $15\ \Omega$ の抵抗器 a と抵抗の大きさが $10\ \Omega$ の抵抗器 b を用いて、実験1、2を行った。ただし、抵抗器以外の抵抗は考えないものとする。

実験1 図2のように抵抗器 a と抵抗器 b を接続したものを端子P、Q間につないで、電源装置の電圧調節つまみを動かして、電圧計の値を見ながら電圧を 0V 、 1.0V 、 2.0V 、 3.0V 、 4.0V 、 5.0V と変化させたときの、電流の大きさをそれぞれ測定した。表はその結果である。

表

電圧 [V]	0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
電流 [mA]	0	40	80	120	160	200

実験2 図3のように、抵抗器 a と抵抗器 b を接続したものを端子P、Q間につないで、電源装置の電圧調節つまみを調節し、電圧計が 5.0V を示すようにした。

- 図1のように電流が流れる道すじのことを何というか。
 - 実験1について、端子P、Q間の電圧と電流の関係をグラフにかけ、ただし、表から得られる値を「・」で示すこと。
 - 実験2で、抵抗器 b に流れる電流は何 A か。
 - 実験1、2で、電圧計が 5.0V を示しているとき、消費する電力が大きい順にア～エを並べよ。
- ア 実験1の抵抗器 a イ 実験1の抵抗器 b
 ウ 実験2の抵抗器 a エ 実験2の抵抗器 b

理-11

(3) 理科の解答例

理科解答例

大 問	配 点	中 間	小 問	解 答 例	
①	18点		1	8 [N]	
			2	$\text{CH}_4 + 2\text{O}_2 \rightarrow \text{CO}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$	
			3	ア	
			4	7	
			5 (1)	500 [Pa]	
			(2)	C ウ D ア E イ	
			(3)	60 [秒]	
			(4)	ウ	
②	18点	I	1	溶岩	
			2	(傾斜がゆるやかな形の火山はドーム状の形の火山に比べて、)噴火のようすはおだやかで、火山噴出物の色は黒っぽい。	
			3	ア	
			4	b エ c ウ	
		II	1	(黒点はまわりに比べて、)温度が低いから。	
			2	イ	
			3	a 自転 b 球形	
			4	2.2 [倍]	
③	18点	I	1	一極 亜鉛板 電流の向き X	
			2	イ	
			3 (1)	a 化学 b 電気	
			(2)	亜鉛原子が亜鉛イオンになるときに失った電子を銅イオンが受けとって銅原子になる	
		II	1	空気より密度が大きい	
			2	a イ b 5.00	
			3	25.00 [g]	
④	18点	I	1	(受けとる刺激) (感覚) 光 聴覚 におい 視覚 音 嗅覚	
			2 (1)	0.28	
			(2)	末梢神経	
			(3)	① イ ② ア	
			II	1	うろこ
			2	A カ D イ	
3	② イカ ③ ネズミ				
4	動物名 カエル 理由 幼生のときは水中で生活するが、成体のときは陸上で生活することもできるため。				
⑤	18点	I	1	屈折	
			2	20 [cm]	
			3	① イ ② ア	
			4		
			II	1	回路
			2		
			3	0.5 [A]	
			4	エ → ウ → ア → イ	

10 英語について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(英語)

問	題	内	容	学年	県 正 答 率										
					0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100 %
1						61.3									
1			放送による聞き取りテスト			61.3									
1			対話の内容に合う絵を選択する問題	中1		97.8									
2			対話を聞いて、必要な情報を聞き取る問題	中1		97.9									
3			対話を聞いて、必要な情報を聞き取る問題	中2		63.0									
4			対話を聞いて、概要を捉える問題	中3		20.3									
5			講義を聞いて、概要を捉える問題	中2		65.8									
6			説明を聞いて、必要な情報を聞き取る問題	中2		85.7									
7			スピーチを聞いて、話の要点を捉える問題	中3		39.9									
8			対話を聞いて、英語の質問に対する答えを英語で書く問題	中2		30.7									
<ul style="list-style-type: none"> 大問1は、「聞くことに関する問題を出題した。「聞くこと」の理解力をみる小問や、対話や説明に関する英語の問いを聞き取り、英語で解答する小問、さらに登場人物の立場となって対話の流れに沿った発言を考えて書く小問を出題した。 「聞くこと」の理解力をみる問題(小問1, 2, 6)の正答率は高かったが、聞いたことに関して単語や英文で書いて解答する問題(小問4, 7, 8)は正答率が低かった。聞くことに関する思考・判断・表現を評価する問いの正答数が少なかった。 授業では、生徒が英語で積極的に話したり聞いたりする言語活動や英語特有の音声や綴りと発音の関係に習熟する練習を多く取り入れたい。目的や場面、状況を生徒に意識させて、文脈や使用場面に応じて、適切にコミュニケーションを図れるかどうかを確認しながら、指導したい。 聞き取った内容に関して自らの考えや意図を適切に表現できるよう、基本的な語いや英文を身に付けさせたい。 															
2			適切な表現力をみる問題			42.2									
1			① 対話の流れに合う口語表現を選択する問題	中2		88.1									
			② 対話の流れに合う口語表現を選択する問題	中1		86.6									
2			① 文脈と語義から空所に適切な語を補う問題	中2		30.0									
			② 文脈と語義から空所に適切な語を補う問題	中1		25.1									
			③ 文脈と語義から空所に適切な語を補う問題	中1		12.9									
3			(1) 文脈に合わせて、文法に関する知識を適切に使って書く問題	中1		38.6									
			(2) 文脈に合わせて、文法に関する知識を適切に使って書く問題	中2		50.6									
			(3) 文脈に合わせて、文法に関する知識を適切に使って書く問題	中2		43.2									
4			イラストに従って、時系列にまとまりのある英文を書く問題	中3		31.5									
<ul style="list-style-type: none"> 大問2は、表現の領域に関する問題を出題した。口語表現やコミュニケーションの目的を果すための文法事項や基本的な語句の知識・技能が身に付いているかどうかを問うた。また、与えられた条件に基づき、適切に英語を書いて伝えることができるかどうかをみる問題を出題した。正答率は、小問1は高かったが、小問2, 4は低かった。 小問2は対話の流れと英語の定義を基に適切な語を書く問題である。③の正答率が特に低かった。授業では、基本的な語句について、その意味を英語で理解させたい。また、arrive atなどの結びつきの強い語句も定着させたい。何を書けばよいか理解している解答も見られたがスペルミスで減点される場合もあるので、単語を正確に書く力も付けさせたい。 小問3はコミュニケーションの目的を達成するための文法力をみた。言語活動をととして文法知識を適切に活用させたい。 小問4は、イラストに従って、時系列にまとまりのある英文を書く問題を出題し、基本的な語句や表現を正しく用いて、書く内容を適切に表現する力をみた。授業では、英語で話す活動を通じて表現に慣れさせた後で、適切に書く力を高める活動や自分自身の考えを自己表現する活動を取り入れ、表現の定着を図りたい。また話の展開を示すつなぎ言葉の定着も図りたい。 															
3			英文の概要や要点を正確に把握する問題			66.8									
I			1 文脈に沿って、空所を補って英文を完成させる問題	中2		87.2									
			2 文脈に沿って、英語の質問に英語で答えを書く問題	中2		39.6									
			3 文脈に沿って、英文の空所を補う適切な英文を選ぶ問題	中2		64.8									
II			1 図表にある情報を整理し、対話文を完成する問題	中2		77.0									
			2 図表にある情報を整理し、対話文を完成する問題	中2		69.9									
III			英文の要点を答える問題	中3		68.1									
<ul style="list-style-type: none"> 大問3は、日常的な話題や社会的な話題について、文脈に沿って内容を理解し、英語で記述する問題や図表等から詳細を読み取って答える問題、要点を捉える力をみた。新学習指導要領に沿って、社会的な話題を扱う問題や思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題した。全体的な正答率は高めであった。 中間Iの2は正答率が低かった。解答に必要な情報を読み取り、文脈に沿って適切に表現する力を付けさせたい。中間IIは、図表と対話から必要な情報を読み取り答える問題、中間IIIは英文の概要を捉える問題であった。 授業では、教科書だけでなく、初めて扱う英文や図表から、書き手の意図を理解するのに必要となる要点や情報を読み取り、英文の概要を捉える活動や、英語の質問に英文で書いて答える活動を導入したい。また、教科書の内容を図表を用いて理解したり表現したりする活動も効果的である。さらに、自己表現活動等で、既習の言語材料を用いて表現する力を伸ばしたい。 															
4			長文総合問題			43.9									
1			概要を読み取る問題	中2		73.9									
2			下線部の内容を説明する問題	中3		22.4									
3			英文の情報を読み取り、適切なグラフを選ぶ問題	中3		67.6									
4			英文の情報を読み取り、空所を補って英文を完成する問題	中3		71.6									
5			下線部の内容を説明する問題	中3		34.5									
6			グラフを参考に、自分の意見を英語で書く問題	中2		17.9									
<ul style="list-style-type: none"> 大問4は、環境問題に関する発表原稿をととして、使用したスライドやグラフを選ぶ問題や「読むこと」と「書くこと」を関連付けた問題などを出題した。語数は昨年度と比較して減少した。 社会的な話題において、概要を読み取る力や必要な情報を読み取る力をみる小問1, 小問3, 小問4は正答率が高かった。まとまりのある文章から必要な情報を読み取る小問2, 5は正答率が低かった。説明文、意見文、対話文、物語文などの文体、日常的な話題や社会的な話題の各話題に応じて、コミュニケーション上重要となる必要な情報や概要、要点を捉えられるよう、様々な読み方を指導したい。 小問6は、対話の文脈を理解した上で、登場人物の立場になって英語で表現する特徴的な問題であった。グラフを分析する力に加え、文脈に沿って具体的内容を表現することが求められた。英語で十分な表現を用いて解答しているものから、白紙や具体性のないものなど解答は多岐に渡っていた。授業では読んだ内容について自分の気持ちや考えを書く活動を取り入れて、正確さや流ちょうさを高めつつ、まとまりのある文章を書く力を付けさせたい。 															

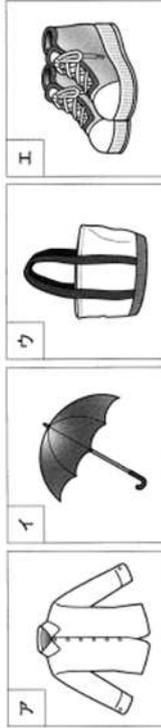
(注) 学年: 当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆: 目安点対象の要素を含むの意。

(2) 英語の問題

1 聞き取りテスト 放送の指示に従って、次の1～8の問いに答えなさい。英語は1から5は1回だけ放送します。6以降は2回ずつ放送します。メモをとってもかまいません。

1 これから、Kenta と Lucy との対話を放送します。Lucy が昨日買ったものとして最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。



2 これから、Mark と Yumi との対話を放送します。二人が最も好きな季節を下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア spring イ summer ウ autumn エ winter

3 これから、Becky と Tomoya との対話を放送します。Tomoya が英語のテスト勉強のために読まなければならないページは全部で何ページか、最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 14ページ イ 26ページ ウ 40ページ エ 56ページ

4 これから、Saki と Bob との対話を放送します。対話の後に、その内容について英語で質問します。下の英文がその質問の答えになるよう、() に入る適切な英語1語を書きなさい。

He is going back to Australia in ().

5 これから、White 先生が下の表を使って授業中に行った説明の一部を放送します。下の表を参考にしながら White 先生の説明を聞き、その内容として最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

			
Japan	1,295,000 t	2,757,000 t	2,732,000 t
The U.S.	12,531,000 t	16,994,000 t	10,034,000 t

※単位はt(トン) (『米国農務省のウェブサイトで』をもとに作成)

- ア 日本とアメリカにおける食肉の消費について
 イ 日本とアメリカにおける食肉の生産について
 ウ 日本とアメリカにおける食肉の輸入について
 エ 日本とアメリカにおける食肉の輸出について

6 あなたは、あるコンサート会場にきています。これから放送されるアナウンスを聞いて、このコンサートホール内で禁止されていることを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 水やお茶を飲むこと イ 写真を撮ること
 ウ 音楽に合わせて踊ること エ 電話で話すこと

7 これから、英語の授業での Tomoko の発表を放送します。発表の後に、その内容について英語で質問します。下の英文がその質問の答えになるように、() に適切な英語を補って英文を完成させなさい。

She learned that she should ().

8 これから、中学生の Naoko と ALT の Paul 先生との対話を放送します。その中で、Paul 先生が Naoko に質問をしています。Naoko に代わって、その答えを英文で書きなさい。2文以上になってもかまいません。書く時間は1分間です。

(2) 英語の問題

2 次の1~4の問いに答えなさい。

1 次は、Kohei と ALT の Ella 先生との、休み時間における対話である。下の①、②の表現が入る最も適当な場所を対話文中のくア〜くエの中からそれぞれ一つ選び、その記号を書け。

① How long will you talk? ② Can you help me?

Kohei : Hi, can I talk to you now?

Ella : Sure. What's up, Kohei? くア

Kohei : I have to make a speech in my English class next week. Before the class, I want you to check my English speech. くイ

Ella : Yes, of course. What will you talk about in your speech?

Kohei : I'm going to talk about my family.

Ella : All right. くウ

Kohei : For three minutes.

Ella : I see. Do you have time after school?

Kohei : Yes, I do. くエ I will come to the teachers' room. Is it OK?

Ella : Sure. See you then.

2 次は、John と父の Oliver との自宅での対話である。く①〜く③に、下の[説明]内の[説明]が示す英語1語をそれぞれ書け。

John : Good morning, Dad.

Oliver : Good morning, John. Oh, you will have a party here tonight with your friends, right?

John : Yes. I'm very happy. Ben and Ron will come.

Oliver : What time will they come?

John : They will く① at the station at 5:30 p.m. So, maybe they will come here at 5:45 p.m. or 5:50 p.m.

Oliver : I see.

John : Can we use the く②? We will cook pizza together.

Oliver : That's good. You can use all the く③ on the table.

John : Thank you. We will use the potatoes and onions.

[説明] ① to get to the place

② the room that is used for cooking

③ plants that you eat, for example, potatoes, carrots, and onions

英-4

3 (1)~(3)について、下の[例]を参考にしながら、く内)内の語を含めて3語以上使用して、英文を完成させよ。ただし、く内)内の語は必要に応じて形を変えてもよい。また、文頭に来る語は、最初の文字を大文字にすること。

[例]

< 教室で >

A : What were you doing when I called you yesterday?

B : (study) in my room. (答) I was studying

(1) < 教室で >

A : When did you see the movie?

B : (see) yesterday.

(2) < 教室で >

A : It's rainy today. How about tomorrow?

B : I hear that it (sunny) tomorrow.

(3) < 家で >

A : Can you use this old camera?

B : No, but our father knows (use) it.

英-5

(2) 英語の問題

3 次の I ~ III の問いに答えなさい。
 I 次は、中学生の Koji が、英語の授業で発表した "My Experiences Here" というタイトルのスピーチである。英文を読み、あとの問いに答えよ。

Hello, everyone! Do you remember that I came here from Yokohama about one year ago? Today, I want to talk about my experiences.

When I was 13 years old, I read a newspaper and learned about studying on this island. I was very interested. I liked nature, especially the sea and its animals. I said to my parents, "Can I study on the island in Kagoshima?" After I talked with my parents many times, they finally let me live and study here for one year. I came here last April.

At first, I was very (①), so I enjoyed everything. For example, studying with my new friends, living with my host family and fishing on a boat. But in June, I lost my confidence. I tried to wash the dishes, but I broke many. When I made *onigiri*, I used too much salt. I made so many mistakes. I couldn't do anything well. When I felt sad, I talked about my feelings to my host family and my friends. Then, they understood and supported me. They said to me, "You can do anything if you try. Don't worry about making mistakes. It is important to learn from your mistakes."

Now, I am happy and try to do many things. Before I came here, I didn't wash the dishes after dinner, but now I do it every day. Before I came here, I didn't enjoy talking with others, but now I enjoy talking with my friends on this island. I often asked for help from others, but now I don't do that. (②)

I have to leave here soon. I have learned a lot from my experiences here. I think I am independent now. Thank you, everyone. I'll never forget the life on this island.

注 host family ホストファミリー (滞在先の家) confidence 自信 salt 塩
 asked for help from others 他人に助けを求めた independent 精神的に自立している

1 (①) に入る最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア angry イ excited ウ sick エ sleepy

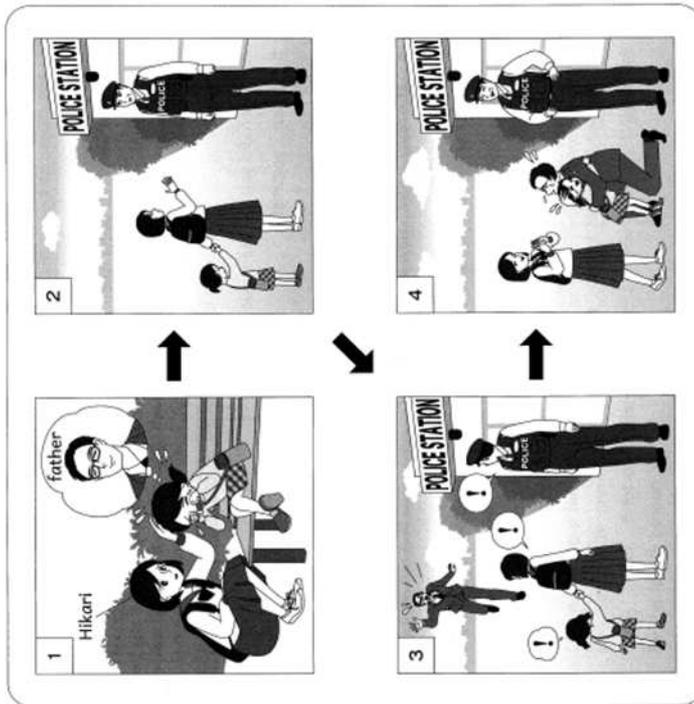
2 次の質問に対する答えを、本文の内容に合うように英文で書け。

Who supported Koji when he was sad?

3 (②) に入る最も適当なものを下のア～ウの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア I wish I had friends on this island.
- イ I didn't learn anything on this island.
- ウ I have changed a lot on this island.

4 次は、中学生の Hikari が昨日の下校中に体験した出来事を描いたイラストである。Hikari になっただつもりで、イラストに合うように、一連の出来事を解答欄の書き出しに続けて 25～35 語の英語で書け。英文の数は問わない。



英-6

英-7

(2) 英語の問題

III 次は、ある英字新聞の記事 (article) と、それを読んだ直後の Ted 先生と Mone との対話である。英文と対話文を読み、() 内に入る最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書け。

"I love my high school life," said Jiro. Jiro is a student at an agricultural high school in Kagoshima. He and his classmates are very busy. They go to school every day, even on summer and winter holidays, to take care of their cows. They clean the cow house and give food to their cows. One of them is Shizuka. Now they have a big dream. They want to make Shizuka the best cow in Japan.

What is the most important thing when we raise cows? "The answer is to keep them healthy," Jiro's teacher said. "No one wants sick cows. So, we take care of the cows every day. We can use computer technology to keep them healthy. It is very useful."

Jiro answered the same question, "I agree with my teacher. It's not easy to keep them healthy. Cows must eat and sleep well. So, we give them good food. We also walk them every day. We make beds for cows. Many people think love is important to raise good cows. That's true, but it is not enough for their health."

Now, Jiro and his classmates are working hard to keep their cows healthy. "We will do our best," Jiro and his classmates said.

注 agricultural 農業の take care of ～ ～の世話をする cow(s) 牛 raise ～ ～を育てる healthy 健康に technology 技術 walk ～ ～を歩かせる

Ted : What is the most important point in this article?
 Mone : ()
 Ted : Good! That's right! That is the main point.

- A To raise good cows, the students don't have to use computer technology.
- I To raise good cows, the students must be careful to keep them healthy.
- ウ The students must give cows a lot of love when they are sick.
- エ The students have to eat a lot of beef if they want to be healthy.

英-9

II 次は、鹿児島ミュージックホール (Kagoshima Music Hall) のウェブサイトの一部と、それを見ている Maki と留学生の Alex との対話である。二人の対話を読み、あとの問いに答えよ。

Kagoshima Music Hall
 Enjoy the best music!

Let's enjoy music!

March
 This is our schedule* from March 1 to March 18. You can enjoy a piano concert and a family concert! Usually our concerts start at 2:00 p.m. But on the day with the picture 🎻, the concert starts at 6:00 p.m. and you can enjoy music at night.

Sun.	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
	1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18

North Hall 300 seats
 West Hall 1,200 seats*
 South Hall 700 seats

🎻 = piano concert 🎹 = family concert 🚫 = closed

注 schedule スケジュール seat(s) 座席

Maki : Alex, please look at this. We can enjoy a concert at Kagoshima Music Hall.
 Alex : That's nice. I like music. What kind of concerts can we enjoy?
 Maki : They have two kinds of concerts, a piano concert and a family concert.
 Alex : What is the family concert?
 Maki : I have been to a family concert before. You can listen to some popular songs and sing songs with musicians. It's fun. They always have the family concerts in (①) Hall. A lot of families come to the concerts, so the biggest hall is used for the family concert.
 Alex : How about the other one?
 Maki : You can enjoy the wonderful piano performance by a famous musician.
 Alex : I like playing the piano, so I want to go to the piano concert. Shall we go?
 Maki : Well, I can't go to the concert in the second week because I will have tests on March 6 and 8. And I will have my sister's birthday party on the evening of March 12. How about (②) ?
 Alex : OK! I can't wait!

- 1 (①) に入る最も適当なものを下のア～ウの中から一つ選び、その記号を書け。
 A West I North ウ South
- 2 (②) に入る最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書け。
 A March 7 I March 11 ウ March 12 エ March 14

英-8

(2) 英語の問題

1 次は、下線部①で Ken が見せたスライドである。Ken が発表した順になるようにスライドの (A) ~ (C) に入る最も適当なものを下のア~ウの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書け。

Birds and Wetlands

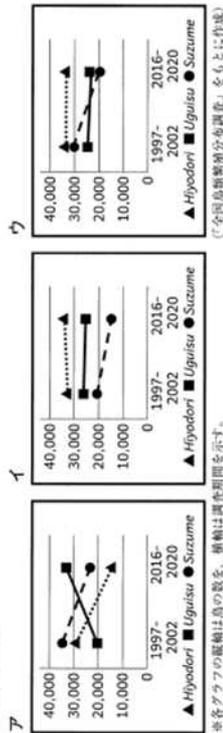
1. (A)
2. (B)
3. (C)

4. Why Wetlands are Important

- ア The Problem about Wetlands
- イ Birds' Favorite Places
- ウ Birds in Japan

2 下線部②の内容を最もよく表している英語5語を、本文中から抜き出して書け。

3 下線部③で Ken が見せたグラフとして最も適当なものを下のア~ウの中から一つ選び、その記号を書け。



4 (④), (⑤) に入る語の組み合わせとして、最も適当なものを下のア~エから一つ選び、その記号を書け。

	④	⑤
ア	money	water
イ	money	air
ウ	food	air
エ	food	water

5 下線部⑥の内容を具体的に25字程度の日本語で書け。

4 次は、中学生の Ken が英語の授業で発表した鳥と湿地 (wetlands) についてのプレゼンテーションである。英文を読み、あとの問いに答えなさい。

Hello everyone. Do you like birds? I love birds so much. Today, I'd like to talk about birds and their favorite places, wetlands.

①Today, I will talk about four points. First, I want to talk about birds in Japan. Second, I will explain favorite places of birds. Third, I will tell you ②the problem about their favorite places, and then, I will explain why wetlands are important for us, too.

Do you know how many kinds of birds there are in Japan? Bird lovers in Japan work together to learn about birds every year. From 2016 to 2020, 379 kinds of birds were found. ③Please look at this graph*. The three birds seen often in Japan are *Hyiodori*, *Uguisu*, and *Suzume*. We have seen *Hyiodori* the most often. From 1997 to 2002, we could see *Suzume* more often than *Uguisu*, but *Suzume* became the third from 2016 to 2020.

Second, I will talk about birds' favorite places, "wetlands." Have you ever heard about wetlands? Wetlands are areas* of land* which are covered with water. Why do birds love wetlands?

Wetlands can give the best environment for many kinds of living things. There is a lot of water in wetlands. So, many kinds of plants live there. These plants are home and food for many insects* and fish. Birds eat those plants, insects, and fish. Wetlands are the best environment for birds because there is a lot of (④) for birds.

Wetlands are now getting smaller and that's a big problem. You can find information on the website of the United Nations*. It says, "In just 50 years — since 1970 — 35% of the world's wetlands have been lost." Why are they getting smaller? Each wetland has different reasons for this. People are using too much (⑤). For example, they use it for drinking, agriculture* and industry*. Global warming* is hurting wetlands, too. Wetlands are lost faster than forests because of these reasons. This is very serious for birds.

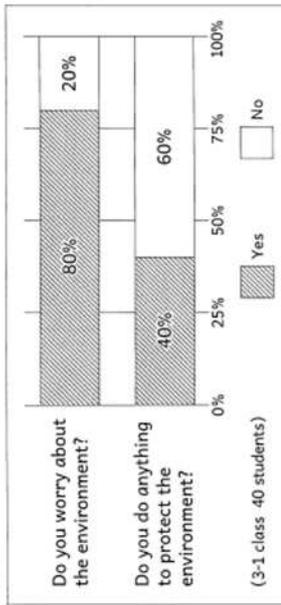
Do we have to solve this? Yes, we do. Those birds' favorite places are very important for humans, too. They support both our lives and environment. I'll tell you ⑥two things that wetlands do for us. First, wetlands make water clean. After the rain, water stays in wetlands. Then, dirt* in the water goes down, and the clean water goes into the river. We use that clean water in our comfortable lives. Second, wetlands can hold CO₂. Plants there keep CO₂ in their bodies even after they die. Actually, wetlands are better at holding CO₂ than forests. They are very useful to stop global warming.

Why don't you do something together to protect birds and wetlands? Thank you for listening.

注 graph グラフ area(s) 地域 land 陸地 insect(s) 昆虫
 the United Nations 国際連合 agriculture 農業 industry 産業
 global warming 地球温暖化 dirt 泥

(2) 英語の問題

6 次は、Ann が自分の発表で使うグラフと、それを見ながら話している Ann と Ken との対話である。Ann に代わって、対話中の [] に15語程度の英文を書け。2文以上になってもかまわない。



Ann : Your presentation was good. I'll speak in the next class. Please look at this. 80% of our classmates worry about the environment, but more than half of them don't do anything to save the environment. I don't think it is good. We should do something to change this.

Ken : What can we do?

Ann : []

Ken : That's a good idea.

(3) 英語の解答例

英 語 解 答 例

大 問	配 点	中 問	小 問	解 答 例
1	25点	3点 3点 3点 3点 3点 3点 3点 4点	1 2 3 4 5 6 7 8	エ ア ウ December ア エ never give up her dream We will sing a song for them.
2	23点	2点×2 2点×3 2点×3 7点	1 2 3 4	① ウ ② イ ① arrive ② kitchen ③ vegetables (1) I saw it (2) will be sunny (3) how to use <u>On my way home yesterday, I found a crying girl. She said she couldn't find her father. So I took her to the police station. Then, her father came. Finally, she met her father. We were very happy.</u> (33語)
3	17点	2点 3点 2点 3点 3点 4点	I 1 2 II 1 2 III 1	イ His host family and his friends did. ウ ア エ イ
4	25点	3点 4点 3点 4点 6点 5点	1 2 3 4 5 6	(A) ウ (B) イ (C) ア Wetlands are now getting smaller ウ エ 湿地は水をきれいにし、二酸化炭素を保持できること。(25字) We can clean our town. We can ask our friends to clean our town together. (15語)